

武蔵国分寺遺跡調査会年報Ⅱ

昭和51～53年度 寺地・僧寺々域確認調査

第2分冊

1982年3月

武蔵国分寺遺跡調査会
国分寺市教育委員会

例 言

1. 本書は、東京都国分寺市西元町に所在する武蔵国分寺跡の寺域確認調査に係る成果をまとめた年報Ⅱの第2分冊である。第1分冊は、昭和57年度に刊行の予定である。なお、既刊の「武蔵国分寺遺跡調査会年報1974」を年報Ⅰ、本書を年報Ⅱとした。
2. 本書には、昭和49年度より国庫補助事業として実施している寺域確認調査の内、昭和51～53年度の僧寺々域および寺地に係る資料を掲載したが、第28次（僧寺々域西辺）調査と第29次（僧寺々域西南隅）調査の資料は、第1分冊に掲載の予定である。
3. 本書は、別表1検出遺構一覧、別表出土遺物一覧、図面、写真図版からなり、各々寺地・僧寺々域の順に編集した。
4. 本書の執筆・編集は、遺構は平田貴正、遺物は高橋和恵がそれぞれ担当し、西脇俊郎、有吉重蔵がこれをたすけた。

凡 例

1. 遺構

①規模は確認面における最大値と最小値を原則とした。（ ）は全容を把握していないもので現存値である。

②中軸線からの距離








建物跡 西南隅柱穴（1-1）まで計測

住居跡 平面形の中心まで計測

溝 跡 両端の中心まで計測し、またコーナー部分は両溝跡底面中心の接点を計測した。

③住居跡の主軸方向は、磁北からの傾斜角度を計測した。

④スクリーントーンの指示は次のとおりである。

平面図	①		焼土・焼け面	②		カマド粘土
	③		硬質面			
断面図	④		焼土	⑤		カマド粘土
	⑥		硬質土	⑦		茶褐色土・ローム土

⑤断面図表示の数字は、発掘基準線中心点からの距離を表わす。発掘基準中心点と僧寺金堂中心点の位置関係は、前者の南北基準線上の中心点南26.276mに後者がある。僧寺中軸線の方位は発掘南北基準線と一致し、真北から7°08'03"、磁北から0°38'03"それぞれ西偏する。

⑥断面表示の数字は水系レベルで、海拔高を示す。










⑦縮尺は次のとおり統一した。

遺構配置図	1/250	住居跡・土坑	1/50
溝跡平面図	1/100	建物跡	1/100
溝跡断面図	1/50	カマド	1/25

2. 遺物

①各遺物共通

イ. スクリーントーンの指示は次のとおりである。

⑧ 	須恵器・土師器	⑨ 	黒色処理土師器
⑩ 	灰釉陶器(断面)	⑫ 	緑釉陶器
⑪ 	灰釉陶器(施釉部分)	⑬ 	墨書
⑭ 	硯書	⑮ 	朱墨書
⑯ 	硯の研磨部分		

ロ. 縮尺は、実測図においては鉄製品を1/2、土器・石製品を1/3、瓦類を1/4、写真においては実大・1/2・1/3・1/4の何れかに統一してある。

ハ. 写真図版は図面中の番号と対照にした。例えば、「18-3」とあれば、「図面18-3」のことを指す。

ニ. 法量(寸法)数値 ゴシック体は完数値・復原数値、明朝体は残存数値を表わし、単位はcmである。

②土器

イ. 上より順に口径・器高・底径を表わす。

ロ. 土:土師器、須:須恵器、灰:灰釉陶器、緑:緑釉陶器

このうち須恵器・灰・緑は還元焰焼成のものを須A、酸化焰焼成のものを須Bとした。

③瓦

繪瓦

イ. 内区文様および弁数 S:素弁、T:単弁、O:特異文

弁数はゴシック体は完弁数・復原弁数、明朝体は残存弁数を表わす。

ロ. 内区文様 以下の組合せによる。ただし内外線の区別のないものについては外縁側に記入した。

形態 A 内外線の区別のあるもの	内・外線の文様	a 素文
B 内外線の区別のないもの		b 珠文
		c その他

字瓦

イ. 内区文様 G:重弧文、KK:均正唐草文、HK:偏行唐草文、H:へら書き文、T:竹管文、K:格子文(へら書きは除く)、J:綱目文、O:その他

ロ. 上・下外区、脇区文様 a素文、b珠文、c長円珠文、d圓線文、e鋸歯文、f凸線文、gその他

ハ. 顎の形態 以下の組合せにより記入

E 直線類

- a 凸面を整形するもの
- b 瓦当部と女瓦部境のみ整形するもの
- c 無整形のもの

F 段類

- F₁ 瓦当凸面と凹面が平行するもの
- F_a F₁ 以外のもの
 - a 瓦当凸面および瓦当裏面を整形するもの
 - b 瓦当凸面のみ整形するもの
 - c 瓦当裏面のみ整形するもの
 - d 無整形のもの

G 曲線類

- G₁ 瓦当凸面が内傾しながら女瓦凸面に移行するもの
- G₂ 瓦当凸面がやや直線的に内傾しながら女瓦凸面に移行するもの
 - a 瓦当凸面のみ整形するもの
 - b 瓦当部と女瓦境部分のみ整形するもの
 - c 無整形のもの

男瓦・女瓦

- イ、布日本数 3cm四方内での側端縁に平行する糸数と狭・広端縁に平行する糸数を表わす。
- ロ、縄叩き日本数 3cm四方内での縄数を表わす。
- ハ、縄の捻り L：縄匠が右上り左下りの傾斜をなすもの
R：縄匠が左上り右下りの傾斜をなすもの
- ニ、粘土板合せ目 佐原真氏の「平瓦桶巻き作り」での分類S・Zによる。
- ホ、布合せ目 粘土板合せ目の分類S・Zに準ずる。
 - a 布末端をまつらないもの
 - b 布末端をまつるもの
- ヘ、叩き締めの円弧 A：叩き締めの円弧が一方のもの
B：叩き締めの円弧が「八」字状をなすもの

第 2 分 冊 目 次

例 言 凡 例

別 表 目 次

別表 1	移出遺構一覽	1
別表 2	出土遺物一覽	11

圖 面 目 次

図面 1	第 41 次調査 遺構配置図, S B 42 獨立柱建物跡, S K 184 土坑実測図	37
図面 2	第 42 次調査 遺構配置図, S D 42 溝跡実測図	38
図面 3	第 42 次調査 S I 136 住居跡, S K 222 土坑実測図	39
図面 4	第 48 次調査 遺構配置図, S D 42・50 溝跡, S K 225 土坑実測図	40
図面 5	第 48 次調査 S D 45・46 溝跡実測図	41
図面 6	第 48 次調査 S I 135 住居跡, S K 206・207・219・220 土坑実測図	42
図面 7	第 44 次調査 遺構配置図, S D 53・54・56 溝跡実測図	43
図面 8	第 44 次調査 S D 17・55 溝跡実測図	44
図面 9	第 44 次調査 S D 49 溝跡実測図	45
図面 10	第 50 次調査 遺構配置図, S D 18 溝跡実測図	46
図面 11	第 78 次調査 遺構配置図, S D 17 溝跡実測図	47
図面 12	第 31・32 次調査 遺構配置図, S D 23 溝跡, S X 3 実測図	48
図面 13	第 43 次調査 遺構配置図, S D 23・63 溝跡実測図	49
図面 14	第 33 次調査 A 地区 遺構配置図, S D 23 溝跡, S X 3 実測図	50
図面 15	第 33 次調査 B 地区 遺構配置図, S D 23 溝跡, S S 20 基石, S K 170 土坑実測図	51
図面 16	第 30 次調査 遺構配置図, S D 23 溝跡, S X 3 実測図	52
図面 17	第 31・32・41 次調査 出土遺物	53
図面 18	第 42 次調査 S I 136 住居跡, 表土出土遺物	54
図面 19	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	55
図面 20	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	56
図面 21	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	57
図面 22	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	58

図面 23	第 48 次調査	S D 42・46 溝跡, S I 135 住居跡出土遺物	59
図面 24	第 48 次調査	S D 45・46 溝跡, 表土出土遺物	60
図面 25	第 48 次調査	表土出土遺物	61
図面 26	第 44 次調査	S D 17・46 溝跡, P 7・15・60, 表土出土遺物	62
図面 27	第 33 次調査 A・B 地区	S X 3, 表土 出土遺物	63
図面 28	第 33 次調査 A 地区表土	出土遺物	64
図面 29	第 33 次調査 A 地区表土	出土遺物	65
図面 30	第 33 次調査 A 地区表土	出土遺物	66
図面 31	第 33 次調査 A 地区表土	出土遺物	67
図面 32	第 33 次調査 A 地区表土	出土遺物	68
図面 33	第 33 次調査 A 地区表土	出土遺物	69
図面 34	第 33 次調査 A・B 地区	表土出土遺物	70
図面 35	第 30 次調査	S D 23 溝跡出土遺物	71
図面 36	第 30 次調査	S D 23 溝跡, 表土出土遺物	72

図 版 目 次

図版 1	第 41 次調査	S B 42 掘立柱建物跡全景(北から) S K 184 土坑全景(西から)
図版 2	第 42 次調査 A 地区	S D 42 溝跡全景(東から) S D 42 溝跡土層断面 B~B'(西から)
図版 3	第 42 次調査 B 地区	S I 136 住居跡全景(西から) S I 136 カマド遺物出土状態(西から)
図版 4	第 42 次調査 B 地区	S D 42 溝跡全景(北から) S D 42 溝跡土層断面 D~D'(西から)
図版 5	第 48 次調査	S I 135 住居跡全景(西から) S D 42・45・46・50 溝跡, S K 206・207 土坑全景(北から)
図版 6	第 48 次調査	S D 42 溝跡, S K 206 土坑全景(西から) S D 42 溝跡土層断面 A~A'(東から)
図版 7	第 48 次調査	S D 45・46・50 溝跡, S K 219・225 土坑全景(南から) S K 220 土坑全景(東から)
図版 8	第 44 次調査	S D 17 溝跡全景(西から) S D 17 溝跡土層断面 B~B'(西から)
図版 9	第 44 次調査	S D 49 溝跡全景(西から)

図版 10	第 44 次調査	S D 49 溝跡土層断面D～D'(東から) S D 49・55・55 溝跡全景(東から)
図版 11	第 44 次調査	S D 49 溝跡土層断面B～B'(北から) S D 54・55 溝跡全景(南から) S D 54 溝跡土層断面A～A'(南から)
図版 12	第 50 次調査	S D 18 溝跡全景(南から) S D 18 溝跡全景(東から)
図版 13	第 50 次調査	S D 18 溝跡土層断面A～A'(西から) S D 18 溝跡土層断面B～B'(西から) S D 18 溝跡土層断面C～C'(東から)
図版 14	第 78 次調査	S D 17 溝跡全景(東から) S D 17 溝跡土層断面A～A'(東から)
図版 15	第 31 次調査	S D 23 溝跡全景(西から) S D 23 溝跡土層断面A～A'(南から)
図版 16	第 43 次調査A地区	S D 23・63 溝跡全景(南から) S D 23・63 溝跡全景(東から)
図版 17	第 43 次調査B地区	S D 63 溝跡全景(東から) S D 63 溝跡土層断面C～C'(西から)
図版 18	第 32 次調査	S D 23 溝跡全景(東から) S D 23 溝跡土層断面A～A'(南から)
図版 19	第 33 次調査A地区	S D 23 溝跡全景(北から) S D 23 溝跡土層断面A～A'(東から)
図版 20	第 33 次調査B地区	S D 23 溝跡全景(北から) S D 23 溝跡土層断面A～A'(東から)
図版 21	第 33 次調査A・B地区	A地区 S X 3 全景(北から) B地区 S S 20 集石全景(東から)
図版 22	第 30 次調査	S D 23 溝跡全景(北から) S D 23 溝跡土層断面B～B'(西から)
図版 23	第 31・32・41 次調査出土遺物	
図版 24	第 42 次調査出土遺物	
図版 25	第 42 次調査出土遺物	
図版 26	第 42 次調査出土遺物	
図版 27	第 42 次調査出土遺物	
図版 28	第 48 次調査出土遺物	
図版 29	第 48 次調査出土遺物	
図版 30	第 44 次調査出土遺物	

- 図版 31 第 33 次調査出土遺物
図版 32 第 33 次調査出土遺物
図版 33 第 33 次調査出土遺物
図版 34 第 33 次調査出土遺物
図版 35 第 33 次調査出土遺物
図版 36 第 33 次調査出土遺物
図版 37 第 30 次調査出土遺物
図版 38 第 30 次調査出土遺物
図版 39 第 48 次調査墨書土器集成
図版 40 横骨・押印文字集成
図版 41 ヘラ書き文字集成

別表 1

検出遺構一覧

調査地区	図面版	遺構番号	内容	
第41次調査	図面1 図版1	SB42	位置 方位 規模 柱間寸法 柱穴の形状 柱穴の深さ 備考	N 219.20 m, W 303.40 m。 東西棟。 桁行2間 4.5 m × 梁行2間 3.3 m。 桁行はば 2.2 m 等間。梁行不同。 長方形、櫛門形。 20 ~ 42 cm。 柱穴1-3の規模が小さく、形状も円形に近い。 全ての柱穴に柱痕跡を確認。
	図面1 図版1	SK184	形状 規模 備考	不整櫛門形。 長軸 1.73 m × 短軸 1.0 m、深さ 25 cm。 覆土下層より炭化物出土。
第42次調査 A地区	図面2 図版2	SD42	位置 上端幅 底面幅 深さ 形状 礎石面の有無 備考	N 227.2 ~ 227.8 m, W 141.1 ~ 147.0 m。 1.1 ~ 1.2 m。 0.7 ~ 1.1 m。 18 ~ 30 cm。 遊台形。 なし。 底面をロームブロックを主体とする土で埋めている。 寺地北辺溝
	図面3 図版3	SI136	位置 方位 平面形・規模 カマド 壁 ピット 周溝 床 備考	N 251.5 m, W 169.5 m。 N-8°-E。 長方形。南北(4.1)m × 東西 3.4 m。 東壁中央より南に位置する。 壁高は 45 ~ 54 cm。はば裏面に立ち上がる。 5個。不整形。深さ 15 ~ 26 cm。 カマド付近を除き全周すると思われる。 張り床。
第42次調査 B地区	図面2 図版4	SD42	位置 上端幅 底面幅 深さ 形状 礎石面の有無 備考	N 224.1 ~ 224.4 m, W 169.0 ~ 171.0 m。 1.0 ~ 1.3 m。 0.6 ~ 0.8 m。 23 ~ 35 cm。 遊台形。 なし。 底面をロームブロックを主体とする土で人為的に埋めている。 寺地北辺溝

調査 地区	図面 図版	遺構 番号	内 容	
第42次調査 B地区	図面 3	SK222	形 状 規 模 備 考	ほぼ円形。 長軸0.96m×短軸1.05m 深さ7~11cm。
	/			
第48次調査	図面 6 図版 5	SI135	位 置 方 向 平面形・規模 カ マ フ 壁 ピ ッ ト 周 溝 床 備 考	N 216 m, W 192.7 m。 N-3-E。 方形? 南北(1.8)×東西5.1m。 不明。 壁高は46~65cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 3個。円形ないし、楕円形。深さ25~68cm。 調査区内では全周する。 張り床。
	図面 4 図版 5・6	SD42	位 置 上 端 底 面 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 221.0~221.8 m, W 190.3~203.0 m。 1.1~1.5 m。 0.5~1.1 m。 16~42 cm。 逆台形。 なし。 SD 46・50 溝跡よりも古い。 寺地北辺溝
	図面 5 図版 5・7	SD45	位 置 上 端 底 面 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 215.1~232.0 m, W 198.6~200.6 m。 0.6~1.05 m。 0.35~0.8 m。 8~21 cm。 U字状。 なし。 SK 206 土坑よりも新しい。
	図面 5 図版 5・7	SD46	位 置 上 端 底 面 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 217.4~231.4 m, W 205~206 m。 (4.4) m。 0.7~1.15 m。 28~61 cm。 U字状。 あり。 寺地の西限を画する遺構か? SD 42 溝跡よりも新しい。

調査地区	図面版	遺構番号	内 容	
第48次調査	図面4 図版5・7	SD50	位置 上端 底面 深さ 形態 硬質面の有無 備考	N 222.4～232.3 m, W 195.8～197.7 m。 0.3～0.5 m。 0.2～0.65 m。 25～63 cm。 U字状。 なし。 凍結性をもたず、土坑状を呈する。 SD 42 溝跡・SK 225 土坑よりも新しい。
	図面6 図版5・6	SK206	形状 規模 備考	長方形。 長軸3.6 m×短軸1.1 m, 深さ15～21 cm。 SD 45 溝跡よりも古い。
	図面6 図版5	SK207	形状 規模 備考	長楕円形。 南北2.4 m×東西0.8 m, 深さ46～71 cm。 ピットを有する。SD 50 溝跡の延長と考えられる。
	図面6 図版7	SK219	形状 規模 備考	ほぼ円形。 直径0.95 m, 深さ8～13 cm。
	図面6 図版7	SK220	形状 規模 備考	長方形。 南北2.1 m×東西0.7 m, 深さ83～90 cm。
	図面4 図版7	SK225	形状 規模 備考	長方形。 長軸2.5 m×短軸1.0 m, 深さ50～60 cm。 2時期の重複が認められる。SD 50 溝跡よりも古い。
第44次調査	図面8 図版8	SD17	位置 上端 底面 深さ 形態 硬質面の有無 備考	S 305.0～306.3 m, W 3.6～10.3 m。 1.75～2.4 m。 0.6～0.9 m。 68～90 cm。 遊台形。 あり(断面図1層)。 底面をロームブロックを主体とする土で埋めている。 SD 54 溝跡よりも古い。 寺地南辺北溝

調査地区	図面図版	遺構番号	内 容	
第44次調査	図面9 図版9・10	SD49	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 硬質面の有無 備考	S 296.6～316.8 m, W 3.5～10.2 m-0-E 4.5～4.8 m。 1.7～2.4 m。 0.45～0.6 m。 60～73 cm。 V字状。 なし。 2時期の重複が認められる。SD 55 溝跡よりも古い。 寺地南辺南溝
	図面7	SD53	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 硬質面の有無 備考	S 307.0～314.6 m, W 4.0～7.5 m。 0.6～0.9 m。 0.6～0.7 m。 2～11 cm。 逆台形。 なし。 近世の遺構である。
	図面7 図版11	SD54	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 硬質面の有無 備考	S 295.6～305.3 m, W 9.1～10.0 m。 0.9～1.2 m。 0.4～0.7 m。 6～30 cm。 U字状。 なし。 SD 55 溝跡よりも古い。
	図面8 図版10-11	SD55	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 硬質面の有無 備考	S 296.4 m, W 10.4 m-0-E 8.9 m。 0.8～1.2 m。 0.3～0.45 m。 15～30 cm。 U字状。 なし。 SD 54 溝跡よりも新しい。
	図面7 図版10	SD56	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 硬質面の有無 備考	S 296.7～300.2 m, E 8.0 m。 0.8～1.1 m。 0.65～0.8 m。 2～11 cm。 逆台形。 なし。 SD 55 溝跡よりも古い。

調査地区	図面図版	遺構番号	内 容	
第50次調査	図面10 図版12-13	SD18	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 礎石面の有無 備考	S 354.0 ~ 367.8 m, E 329 ~ 347.9 m。 0.8 ~ 1.3 m。 0.3 ~ 0.5 m。 30 ~ 54 cm。 U字状。 なし。 寺地南辺南溝
第78次調査	図面11 図版14	SD17	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 礎石面の有無 備考	S 305.5 m, E 241.5 ~ 251.4 m。 (0.7 ~ 1.1) m。 (0.2 ~ 0.5) m。 (48 ~ 60) cm。 逆台形? なし。 寺地南辺北溝
	図面11	SD82	位置 上端幅 底面幅 深さ 形態 礎石面の有無 備考	S 310.7 m, E 241.4 ~ 251.4 m。 1.6 ~ 2.5 m。 0.4 ~ 0.6 m。 48 ~ 59 cm。 U字状。 なし。 近世の溝跡である。

調査地区	図面図版	遺構番号	内 容	
第31次調査	図面12 図版15	SD23	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 懸 硬質面の有無 備考	S 155.6 m, E 245.1 m。 2.4～2.7 m。 1.0～2.1 m。 59～87 cm。 逆台形。 なし。 底面は二段掘り、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺A域東南隅
第43次調査 A地区	図面13 図版16	SD23	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 懸 硬質面の有無 備考	N 270 m, E 277.8 m。 2.3～2.5 m。 0.7～1.0 m。 75～95 cm。 逆台形。 なし。 底面は二段掘り、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺A域東北隅
	図面13 図版16	SD63	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 懸 硬質面の有無 備考	N 271.7 m, E 274.8～284.4 m。 1.9～(2.1) m。 1.0～1.2 m。 57～128 cm。 逆台形。 なし。 寺地北辺溝
第43次調査 B地区	図面13 図版17	SD63	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 懸 硬質面の有無 備考	N 273.6 m, E 331.6～334.3 m。 1.8～2.3 m。 0.9～1.1 m。 53～76 cm。 U字状。 なし。 寺地北辺溝
第32次調査	図面12 図版18	SD23	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 懸 硬質面の有無 備考	N 192.3～197 m, E 273.5 m。 1.7～2.3 m。 0.6～1.1 m。 98～114 cm。 逆台形。 あり(SX8)。 底面は二段掘り、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺A域東辺溝

調査地区	図面図版	遺構番号	内 容	
第33次調査 A地区	図面 14 図版19・21	SD23	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 硬質面の有無 備考	N 246.5 ~ 248 m, E 0.5 ~ 12 m。 2.7 ~ 3.1 m。 1.2 ~ 1.3 m。 90 ~ 115 cm。 U字状。 あり(SX3)。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺々城北辺溝
第33次調査 B地区	図面 15 図版 20	SD23	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 硬質面の有無 備考	N 241.7 m, W 31.0 ~ 32.9 m。 (1.7 ~ 2.0) m。 0.6 ~ 0.8 m。 59 ~ 70 cm。 逆台形。 なし。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺々城北辺溝
	図面 15	SK170	形状 規模 備考	不整楕円形。 長軸 0.9 m × 短軸 0.8 m, 深さ 24 cm。 縄文期。
	図面 15 図版 21	SS20	形状 規模 備考	楕円形。 長軸 1.3 m × 短軸 1.0 m。 35 個の礎のうち、大半が焼けている。石器類 7 点。
第30次調査	図面 16 図版 22	SD23	位置 上端幅 底面幅 深さ 形 硬質面の有無 備考	N 141 m, E 54.3 ~ 60.3 m。 (2.9 ~ 3.0) m。 1.3 ~ 1.55 m。 (100 ~ 118) cm。 逆台形。 あり(SX3)。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺々城南辺溝

別表 2

出土遺物一覽

第 41 次 調 査 出 土 遺 物

竪穴住居跡・表土 土 器 一 覧

図 面 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
17-3 図版23	縁一塊	竪穴住居跡	— 1.3 7.3	断面半月形の高台を有する。内面に花文を施す。	ロココ整形。底部糸切り後周縁を回転ヘラ削り。内面に花文刻み、施軸を行なう。付高台部は丁寧なナデ。	底部破片。物は黄緑色。
17-4	須A一環	表土	— 1.7 6.5	上げ底の底部より内周気味に立ち上る。内面を硯に転用。	ロココ整形。底部回転糸切り。体部下端を横ナデ。	底部破片。転用硯。流紋骨針を含む。
17-5	須一葉	竪穴住居跡		葉体部破片を硯に転用。	平行叩き、内面ナデ。	葉体部破片。転用硯。

SK184土坑 女瓦一覽

図 面 版	出 土 位 置	寸 法				成 ・ 整 形 の 特 徴						備 考
						凹 面			凸 面		端 面	
		狭端	広端	全長	厚さ	素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴	
17-7 図版23	覆土		2.7	17.9	3.1	粘土板		部分的ヘラナデ。右側端縁を幅広くヘラ削り。	織目L	無調整。	広端・右側端指ナデ。	凹面粘土板合せ目。広端面クラ状正負。黒色スコーリア状物質含む。

第 42 次 調 査 出 土 遺 物

S I 136 住居跡 土 器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
18-1	須A-環	覆土	11.8 3.2 6.2	やや上げ底の底部より体部にかけて内湾し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口縁部内外面を横ナデ。	1/2 弱残存。
18-2 図版 24	須A-環	覆土	11.8 3.4 6.1	やや上げ底の底部より体部にかけて内湾し、口縁部は僅かに外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。体部及び口縁部内外面を横ナデ。	一部欠失。一部自然釉付着。
18-3 図版 24	須A-環	覆土	12.1 3.3 6.8	やや上げ底の底部より体部にかけて内湾し、口縁部はやや外反する。	ロクロ整形。体部及び口縁部内外面を横ナデ。	1/2 強残存。
18-4	須A-環	覆土	12.8 3.6 6.0	底部より体部にかけて内湾し、口縁部は外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口縁部内外面を横ナデ。	1/3 残存。火澤有り。海綿骨針を含む。
18-5	須A-環	覆土	13.0 3.2 7.1	薄い底部より口縁部にかけて直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面は横ナデ。	1/3 残存。一部スス付着。
18-6	須A-環	覆土	13.2 5.0 4.9	底部より体部にかけて内湾し、口縁部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口縁部内外面を横ナデ。	1/4 残存。内面スス付着。黒色スコリア状物質を含む。
18-7 図版 24	須A-環	覆土	11.5 3.5 5.7	やや上げ底の底部より口縁部にかけて僅かに内湾する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下端及び口縁部横ナデ。	1/2 残存。
18-8	須A-環	覆土	12.6 3.7 6.2	底部より体部下半は直線的に外上方へ外傾し、体部上半は内湾し、口縁部はやや外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半は横ナデ。	1/2 残存。
18-9	須A-環	覆土	11.8 3.6 6.1	底部より体部にかけて内湾し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面を横ナデ。	1/3 残存。
18-10 図版 24	須A-環	覆土	12.2 4.25 6.4	底部から体部下端にかけて直線的に立ち上り、体部はやや内湾し、口縁部は外反する。底部内外面に回転糸切り痕。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。(底部門柱造り)	一部欠失。黒色スコリア状物質含む。
18-11 図版 24	土-環	覆土	11.9 3.0 5.4	底部から体部にかけて直線的に外上方へ外傾し、口縁部は外反する。	底部及び体部を手持ちヘラ削り。口縁部から内面にかけて横ナデ。体部指痕有り。	1/3 残存。赤色スコリア状物質を含む。
18-12	土-環	覆土	11.7 3.6 4.4	底部から体部下半にかけて内湾し、口縁部は外反する。	底部及び体部を手持ちヘラ削り。体部上半及び口縁部から内面にかけて横ナデ。	一部欠失。
18-13	須A-塊	覆土	15.8 7.2	体部から口縁部にかけて僅かに内湾する。口縁部は断面台形を呈する。	ロクロ整形。体部下端をヘラ削り。口縁部内外面横ナデ。	1/5 残存。外面自然釉付着。海綿骨針を含む。
18-14	須A-塊	覆土	18.4 5.2	体部は僅かに内湾し、口縁部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。口縁部内外面横ナデ。	1/4 残存。海綿骨針を含む。

図面版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
18-15	灰-浄瓶	覆土	2.65		□コロ整形。丁寧なナデを行なり。	注口破片。釉は淡黄緑色。一部青白色。
18-16 図版24	須-蓋	覆土	15.8 1.7	体部は直線気味に外下方へ開き、口縁部は外反する。	□コロ整形。	1/4 残存。海綿骨針を含む。
18-17 図版24	灰-蓋	覆土	15.6 3.6	緩やかに外傾する天井部より段をなして直線気味に外下方へ開く。	□コロ整形。	1/8 残存。釉は赤茶〜濃茶色。
18-18	灰-壺	覆土	17.7 4.8 8.3	底部から体部にかけてやや内傾し、口縁部は外反する。	□コロ整形。底部回転ヘラ削り後付高台。体部下端は回転ヘラ削り。底部・高台部を横ナデ。	1/5 残存。釉は灰緑色。
18-19	土-甕	覆土	11.6 3.4	コ字状口縁を呈する。	口縁部内外面横ナデ。肩部ヘラ削り。	口縁部破片。
18-24 図版24	土-甕	覆土	12.5 5.7	コ字状に近い口頸部。肩部から胴部にかけて緩やかに開く。	口頸部横ナデ。肩部は横位ヘラ削り。胴部内面を横位のヘラナデ。	口頸部 1/3 残存。
18-25	土-甕	覆土	10.6 6.7	小形甕。頸部は肩部より内傾し、口縁部は外反する。	口頸部横ナデ。肩部・胴部上半は横位のヘラ削り。内面横位のナデ。	口頸部破片。
18-26	土-甕	覆土	20.8 4.0	コ字状に近い口頸部。肩部は緩やかに開く。	口頸部横ナデ。肩部横位のヘラ削り。内面は横位のナデ。	口頸部破片。
18-27	土-甕	覆土	24.5 5.3	口縁部は外反する。全体的に器壁の剥落が著しい。	口頸部横ナデ。肩部横位のヘラ削り。	口頸部破片。

鉛瓦一覽

図面版	出土 位置	直径	内 区						外 区					全長	備 考
			中房 径	蓮子数	弁区 径	弁幅	弁数	幅	内 縁		外 縁				
									幅	文様	幅	高	文様		
19-2 図版25	覆土					1.4	T1	2.7	0.9	Aa	1.8	0.8	Aa	7.1	黒色スコリア状物質含む。
19-3 図版24	覆土	6.8				3.4	T2	2.7	0.9	Aa	1.8	0.8	Aa	5.0	瓦当裏面に繻目印き。少量の赤色スコリア状物質含む。
19-4	覆土						T								瓦当裏面に繻目印き。
19-5 図版24	覆土	20.3	6.5	1+4	12.0	3.8	T3	2.6	1.0	Aa	1.6	0.9	Aa	2.6	

字瓦一覽

図面 図版	出土 位置	寸法				内区			外区			脇区		文様 深さ	全長	備考
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上		下						
								厚さ	文様	厚さ	文様					
19-1 図版24	覆土	9.1	7.1		6.4	4.4	HK	1.6	a		6.4	a	0.5	12.2	類G ₂ -a	

男瓦一覽

図面 図版	出土 位置	寸法				成・整形の特徴										備考
		狭端	広端	全長	厚さ	凹面			凸面			端面				
						素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴					
20-1 カマド 側面				17.1	1.4	粘土組	22×17	左右両側端を幅狭くへら削り。		板状工具で回転ナデ。左右側端縁を幅広くへら削り。	左右側端へら削り。	凹面判読不明朱墨書及び布合せ目Zb。黒色スコリア状物質含む。				
20-2 カマド 側面		11.6	24.8	38.8	1.7	粘土組	30×30	広端の一部へら削り。	縄目L	全面縦方向に指ナデし、広端は横方向に指ナデ。	全面をへら削り。	凹面判読不明朱墨書及び布合せ目Sb。多量の黒色スコリア状物質を含む。				
20-3 図版25	覆土	10.7	20.5	39.1	1.4		27×30	広端縁幅広く、左右両側端縁は幅狭くへら削り。		全面板状工具で回転ナデ。部分的縦方向にナデ。広端縁指ナデ。	狭端へら削り。左右側端縁後へら削り。	凹面布合せ目Za。鉋瓦(瓦当部欠失)瓦当部分指ナデ。				
21-1 覆土		19.0	13.7	2.0	粘土組	30×30	広端縁幅広く、左右両側端縁幅狭くへら削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端縁幅広くへら削り。		広端へら削り。	凹面に2条の布合せ目(両方ともSa)				
21-2 カマド 側面		11.2	15.7	1.5	粘土組	27×30	広端幅広く、左右両側端縁を幅狭くへら削り。		全面板状工具で回転ナデ。左右両側端縁幅狭くへら削り。		狭端除く3端をへら削り。	凹面朱墨書。広端内隅切り。赤色スコリア状物質含む。				
21-3 図版25	覆土		10.8	1.3		36×33	左右両側端縁を幅狭くへら削り。		板状工具で回転ナデ。左右両側端縁幅狭くへら削り。		左右側端を糸切り後無調整。	海綿骨針を含む。				
21-4 カマド 側面		13.3	23.3	1.8	粘土組	30×27	左側端・広端縁を幅狭くへら削り。	縄目	全面板状工具で回転ナデ。右側端縁を幅狭くへら削り。		広端・右側端へら削り。	広端隅切り。右側端面「入」へら書き。凹面判読不明の朱墨書。				
21-5 覆土		5.0	12.0	40.4	1.2	粘土組	27×27	右側端を除く3端へら削り。	縄目L	全面板状工具で回転ナデ。広端・左側端縁幅狭くへら削り。	狭端無調整。広端・左側端へら削り。	広端隅切り。広端面縄目痕。赤色スコリア状物質含む。				

女瓦一覽

19-6 図版26	覆土	14.2		22.8	2.7	粘土組	24×21	狭端・右側端縁を幅広くへら削り。	縄目L 9本	狭端・左側端縁の一部へら削り。	狭端・右側端へら削り。	凸面に布目底有り。黒色スコリア状物質含む。
19-7 図版26	覆土	14.2		29.7	2.1	粘土板	24×27	縦方向へら削り。狭端縁・右側端縁を幅広くへら削り。	縄目L	縦位のへらナデ。	狭端・右側端へら削り。	神板圧痕。凹面粘土板合せ目S。海綿骨針含む。

図面 図版	出土 位置	寸 法				成 ・ 整 形 の 特 徴						備 考
		狭端	広端	全長	厚さ	素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	端 面 特 徴	
19-8 図版40	覆 土			6.0	2.3	粘土紐	20×21	狭端縁を幅狭く ヘラ削り。	正格子	無調整。	狭端へラ削り。	端面に「那」の 押印。
19-9	覆 土	6.7		10.7	2.3	粘土紐	21×25	狭端・右側端縁 幅広くヘラ削り。	斜格子	無調整。	狭端・右側端へ ラ削り。	狭端・右側端隅 切り。黒色スコ リア状物質含む。
19-10	覆 土		6.2	6.9	1.3	粘土紐	27×30	狭端縁幅狭くへ ラ削り。	縄目L 10本	無調整。 狭端・左側端縁 に端面の指ナゲ がおよぶ。	狭端・右側端指 ナゲ。	黒色スコリア状 物質含む。
19-11	覆 土	5.1		11.5	1.6	粘土紐		右側端縁幅狭く ヘラ削り。	縄目L	無調整。 左側端縁に端面 の指ナゲがおよ ぶ。	右側端指ナゲ。	
22-1 図版26	カマド 側面	26.5		23.8	2.3	粘土板		粗くヘラナゲ。 狭端・左側端へ ラ削り。	縄目L 8本	無調整。		凹面中央が刺 落。赤色スコ リア状物質含む。
22-2 図版27	覆 土	27.0	15.6	37.7	3.4	粘土紐	16×22	全側端縁を幅広 くヘラ削り。	縄目L	無調整。	左右側端指ナゲ。	狭端を隅切り。 凸面に棒状圧 痕。
22-3 図版27	覆 土	25.5	28.3	37.2	2.2	粘土紐	15×19	全側端縁を幅狭 くヘラ削り。	縄 目 9 本	全側端縁を幅狭 くヘラ削り。 叩き締めめの円弧 B。	全面指ナゲ後へ ラ削り。	凸面に布目直有 り。黒色スコ リア状物質含む。

鉄 製 品 一 覧

図面 図版	種 別	出土位置	寸 法	備 考
18-20	不 明	覆 土	長さ 7.8 幅 0.5 厚み 0.15	
18-21	不 明	覆 土	長さ 3.3 幅 1.0 厚み 0.15	円筒状を呈する。
18-22	刀 子	覆 土	長さ 7.4 刃幅 1.15 鋒厚 0.3	刃部の大半を欠失する。
18-23	釘	覆 土	長さ 5.1 幅 0.5	

表土 土器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
18-28 図版 24	須一壺		7.8 5.9	底部から胴部下平にかけて内増し、 肩部から緩やかに内傾する。断面半 月形の高台を有する。	ロタロ整形。底部から肩部まで回転 ヘラ削り。底部・高台部横ナデ。	1/4 残存。底部「×」のヘ ラ書き有り。肩部自然袖 付著。

第 48 次 調 査 出 土 遺 物

SD 42 溝跡 土 器 一 覧

図 面 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成・整 形 の 特 徴	備 考
23-1 図版 28	須A-1 環	覆土	12.4 3.1 7.0	底部から体部下半にかけてやや内彎し、体部から口縁部にかけて直線的に外上方に外傾する。	粘土粗巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り後周縁を回転へら削り。口縁部内外面及び体部を横ナデ。	完形。内面硯に転用。黒色スコリア状物質を含む。

SD 45 溝跡 男 瓦 一 覧

図 面 版	出 土 位 置	寸 法				成・整 形 の 特 徴				備 考		
		契 端	広 端	全 長	厚 さ	凹 面		凸 面				
24-12	覆土			16.6	1.9	粘土粗	18×19 33×25	右側端縁幅広くへら削り。	網目	全面板状工具で回転ナデ。	左側端指ナデ。	布合せ目Za。少量の黒色スコリア状物質含む。

SD 46 溝跡 土 器 一 覧

図 面 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成・整 形 の 特 徴	備 考
23-2 図版 39	須A-1 環	覆土	2.4 7.4	底部より内彎して立ち上る。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部横ナデ。	底部破片。底部内外面に「木」の墨書。赤色スコリア状物質含む。
23-3 図版 28	須A-1 環	覆土	10.8 3.6 5.1	底部より口縁部にかけて内彎し、口縁部はやや外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面及び体部を横ナデ。	1/2 残存。一部自然轉付着。
23-4 図版 28	須A-1 環	覆土	12.3 3.5 5.4	厚手の底部より口縁部にかけて内彎する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面及び体部を横ナデ。	1/2 強残存。スス付着。海綿骨針含む。
23-5	須A-1 環	覆土	11.7 3.4 6.7	体部は内彎し、口縁部は直線的に外上方に外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部を横ナデ。	1/2 弱残存。
23-6 図版 28	須一 蓋	覆土	20.1 4.4	扁平化した宝珠形つまみを有する。天井部より口縁部にかけて内彎し、口縁部はやや外傾する。	ロクロ整形後外面天井部を回転へら削り。内外面を横ナデ。	1/2 残存。海綿骨針含む。
23-7 図版 28	須一 蓋	覆土	18.8 4.0	ぼたん状つまみを有する。天井部より口縁部にかけて内彎し、口縁部は外傾する。	ロクロ整形。外面天井部回転糸切り後周縁を手持ちへら削り。天井部を指ナデ。内外面横ナデ。	1/2 残存。黒色スコリア状物質含む。
23-8	須一 蓋	覆土	21.0 4.3	口縁部大きく外傾する。	ロクロ整形。	口縁部破片。
23-9	須一 皿	覆土	1.2 6.4		ロクロ整形。底部回転糸切り。	底部破片。転用説。

図面版	種別器形	出土位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-10	灰一塊	覆土	— 1.5 9.3	断面半月形の高台を有する。	コタロ整形。	底部破片。

女 瓦 一 覧

図面版	出土位置	寸 法				成・整形の特徴						備考
		狭端	広端	全長	厚さ	凹 面			凸 面		端 面	
						素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴		
24-13 図版29	覆土		15.4	12.0	1.9			右側端縁へツ削り。	縄目R	無調整。	広端・右側端指ナゲ後へツ削り。	海綿骨針。黒色スコリア状物質含む。
24-14	覆土			15.5	1.8	粘土凝	19×17	右側端へツ削り。	縄目L	無調整。	右側端へツ削り。	指頭痕有り。

S I 135 住居跡 土 器 一 覧

図面版	種別器形	出土位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-11 図版28	須B一坏	床面上	12.9 4.2 5.6	底部から体部にかけて直線的に外上方に外傾し、口縁部は肥厚して外反する。体部に強いしめがある。	コタロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面及び体部下半を横ナデ。	完形。内外面にスス付混。赤色スコリア状物質を含む。
23-12 図版28 図版39	須一皿	覆土	14.5 3.7 6.4	底部から体部にかけてやや内傾し、口縁部は肥厚して外反する。断面半月形の高台を有する。	粘土銀巻き上げ後コタロ整形。底部回転糸切り後付高台。口縁部及び高台部を横ナデ。	1/2残存。 内面中央に「○」、底部外面に「入」の墨書。
23-13	須A一坏	覆土	12.1 2.2	口縁部外反する。	コタロ整形。	口縁部破片。外面に判読不明の墨書。
23-14	灰一塊	覆土	13.3 2.0	内面に淡黄緑色の施釉。口縁部が強く外反する。	コタロ整形。	口縁部破片。
23-15	須A一坏	周溝内	14.2 6.3 7.5	底部より口縁部にかけて僅かに内傾し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。断面半月形の高台を有する。	コタロ整形。付高台部横ナデ。	1/4残存。
23-16	須B一坏	覆土	16.5 5.5	体部に僅かに内傾し、口縁部は外反する。	コタロ整形。	口縁部破片。赤色スコリア状物質を含む。
23-17	土一壺	覆土	14.3 4.0	コ字状口縁を有する。頸部から肩部にかけて緩やかに開く。	口頸部を横ナデ。肩部は横位のへツ削り。	口頸部破片。僅かに海綿骨針を含む。
23-18	土一壺	覆土	19.9 3.6	コ字状口縁部の破片。口唇部断面三角形を呈する。口縁部と頸部の間に嵌り。	口頸部を横ナデ。	口頸部破片。

図 面 図	種 別 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
23-19	土一壘	覆土 北東隅	3.1 9.6	台付壘の底部	台部横ナデ。指痕瓦礫著に残る。	台部1/2残存。

表土 土 器 一 覧

図 面 図	種 別 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
24-1	須B一環		12.4 4.1 5.9	厚手の底部より口縁部にかけて内湾し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	1/2残存。 赤色スコリア状物質含む。
24-2	須A一環		2.5 8.1	上げ底の底部より直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り後周縁を回転ヘラ削り。	底部破片。内外面にスス付着。黒色スコリア状物質を含む。
24-3 図版39	須A一環		2.9 8.2	底部より体部にかけてやや内湾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り後底部周縁から体部下端にかけて回転ヘラ削り。	底部破片。底部外面に「イ」の墨書。
24-4	須A一皿		16.0 2.0	体部はやや内湾し、口縁部は外反する。ロクロ瓦礫著。	ロクロ整形。	口縁部破片。
24-5	須一蓋		2.4	天井部より体部にかけて内湾し、口縁部は直線的に外傾する。	ロクロ整形。天井部回転糸切り後周縁を回転ヘラ削りし、天井部を指ナデ。体部横ナデ。	1/4弱残存。
24-6	須A一環		1.6 8.0	上げ底の底部よりやや内湾して立ち上る。	底部回転糸切り後周縁から体部下端にかけて回転ヘラ削り。	底部破片。
24-7	須A一埴		2.8 6.1	底部から体部にかけて内湾する。断面細い台形の高台を有する。	ロクロ整形。底部回転糸切り後一部を残し底部から体部下端にかけて回転ヘラ削り。付高台。	底部破片。海綿骨針含む。
24-8	須一壘			壘体部の破片。		転用説。
24-9	土一壘		3.6 10.5	台付壘の底部。	台部横ナデ。	台部の1/2残存。
24-10	須一壘		19.9 3.0	大きく外上方へ開く。口唇部断面半月状を呈する。	ロクロ整形。	口縁部破片。海綿骨針含む。
24-11	土一壘		17.9 5.9	コ字状口縁を有する。	口頸部は横ナデし、肩部は横位のヘラ削りを行なう。	口頸部破片。

鏡瓦一覽

圖面版	出土位置	直径	内 区					外 区					全長	備 考	
			中 切 径	底子数	弁区 径	弁幅	弁数	幅	内 縁		外 縁				
								幅	文様	幅	高	文様			
25-1 図版28		6.2				4.75	T 2	1.3				0.8	Ba		瓦当裏面指ナゲ。

字瓦一覽

圖面版	出土位置	寸 法				内 区		外 区				飾 区		文様 深さ	全長	備 考
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上	下	幅	文様					
							厚さ	文様	厚さ	文様		文様				
25-2 図版28					2.9	1.6	O			1.2				0.5		類G ₁ -a

男瓦一覽

圖面版	出土位置	寸 法				成 ・ 整 形 の 特 徴							備 考
		狭端	広端	全長	厚さ	凹 面		凸 面		端 面			
						素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴		
25-11 図版28		8.5		6.6	1.5		18×18	狭端・左側端縁へツ削り。		板状工具で回転ナゲ。右側端縁を幅広くへツ削り。		狭端・右側端指ナゲ。	狭端面に「×」のへツ書き。薄碑骨針含む。
25-12 図版28		5.4		6.9	1.2		18×18	狭端・左側端縁へツ削り。	罫目	板状工具で回転ナゲ。		狭端指ナゲ。右側端縁切り後無調整。	
25-13			12.6	11.6	1.9	粘土紙		全面粗く指ナゲ。広端・右側端縁幅広くへツ削り。		全面板状工具で回転ナゲ。左側端・広端縁へツ削り。		広端へツ削り。左側端指ナゲ。	左側端縁ワラ状圧痕。薄碑骨針含む。

女瓦一覽

25-3			11.1	2.4	粘土板	17×21	左側端縁へツ削り。	正格子	無調整。		左側端指ナゲ。	少量の薄碑骨針含む。
25-4 図版29			14.3	11.2	2.0		全面粗くへツナゲ。広端・右側端縁を幅広くへツ削り。		正格子	無調整。	広端指ナゲ。右側端へツ削り後指ナゲ。	薄碑骨針含む。
25-5 図版29		8.3		19.5	2.9		18×20	左側端縁へツ削り狭指ナゲ。	罫目	無調整。	狭端・左側端指ナゲ。	狭端面にフラ状圧痕。黒色スコリア状物質少量含む。
25-6				12.7	2.8		狭端縁幅広く、へツ削り。	斜格子	無調整。		狭端へツ削り。	凹面に3cmの不明圧痕。黒色スコリア状物質含む。

図面 図版	出土 位置	寸法				成・整形の特筆							備考		
		狭端	広端	全長	厚さ	凹面			凸面		端部				
						素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	特徴			
25-7				10.5	2.5	粘土板	17×18			斜格子					海綿骨針含む。
25-8		6.5		18.3	2.1	粘土板	22×30	狭端縁幅広くヘラ削り。		縄目L	右側端縁の一部ヘラ削り。	右側端指ナゲ後ヘラ削り。			狭端面ワラ状圧痕。
25-9 図版29				15.0	1.6	粘土板	16×18	左側端縁幅広くヘラ削り。		斜格子	無調整。		左側端指ナゲ。		凸面「橋」の遊字押型文字。少量の黒色スコリア状物質含む。
25-10				6.6	1.5		21×24			縄目L 13本					凹面模骨文字「大」。

第 44 次 調 査 出 土 遺 物

SD 49 溝跡 土 器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	土 質	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
25-8 図版 30	土一環	覆土		10.3 4.0 5.0	丸味を帯びた底部より体部にかけて内傾し、口縁部は直立する。	粘土粗巻き上げ後、体部外面は指環により成形。内面へラ調整。口縁部内外面は横ナデ。	1/2残存。

SD 17・49 溝跡 宇 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法						内 区				外 区				胎 区		文 様 深 さ	全 長	備 考
		上弦 弧 幅	下弦 弧 幅	弧 深	厚 さ	厚 さ	文 様	上		下		幅	文 様	幅	文 様					
								厚 さ	文 様	厚 さ	文 様									
25-9 図版 30	SD49 覆土				4.0			H									3.8		7.1	
26-14 図版 30	SD17 覆土	1.5			5.2			HK											20.4	

ピット 土 器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	土 質	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
25-1 図版 30	須B一環	P60		12.6 3.4 4.8	上げ底の底部より直線的に外上方へ外傾し、口縁部は肥厚してやや外反する。	粘土粗巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面横ナデ。	完形。 赤色スコリア状物質を含む。

造 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	直 径	内 区						外 区						全 長	備 考
			中 径	厚 子 数	舟 区 径	介 幅	舟 数	幅	内 縁		外 縁		幅	高		
26-8 図版 30	P7	18.9	6.2	1+4	4.0	3.4	T6	2.2	0.9	Aa	1.3	0.7	Aa	15.2		

宇 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法						内 区				外 区				胎 区		文 様 深 さ	全 長	備 考
		上弦 弧 幅	下弦 弧 幅	弧 深	厚 さ	厚 さ	文 様	上		下		幅	文 様	幅	文 様					
								厚 さ	文 様	厚 さ	文 様									
26-10 図版 30	P15				5.7	4.7												0.3	10.9	須 G ₂ -c

表土 土器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
26-2 図版30	須B一環		11.6 3.8 6.6	底部から体部にかけて内彎し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。	一部欠失。 赤色スコリア状物質を含む。
26-3	須A一環		11.6 3.3	体部は内彎し、口縁部は肥厚して外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。口縁部内外面を横ナデ。	1/5 残存。
26-4	須A一環		13.6 4.6	体部は内彎し、口縁部は肥厚して外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。	1/5 残存。 内面に自然輪付着。
26-5	土一環		9.9 2.5	体部は内彎し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	粘土紐巻き上げ後指頭により成形。口縁部内外面横ナデ。内面ヘラナデ。	口縁部破片。
26-7	土一環		12.4 3.8 4.8	体部は内彎し、口縁部は直立的。	粘土紐巻き上げ後指頭により成形。口縁部内外面横ナデ。内面ヘラナデ。	1/3 残存。

女 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法				成 ・ 整 形 の 特 徴						備 考	
		致端	広端	全長	厚さ	凹 面			凸 面		端 面		
						素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴		
26-15				11.2	1.8		21×24	右側端縁へツ削り。		正格子	無調整。	右側端へツ削り。	

石 製 品 一 覧

図 面 図 版	種 別	出 土 位 置	寸 法	備 考
26-11	砥石		長さ 6.0 幅 2.8 厚み 1.9	四面を砥面に使用。
26-12	砥石		長さ 3.4 厚み 0.5	

鉄 製 品 一 覧

26-13	不明		長さ 5.5 幅 4.4 厚み 0.8	
-------	----	--	---------------------------	--

第 31 次 調 査 出 土 遺 物

S D 23 遺 跡 土 器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
17-1 図版 23	須日一坑	B-層 5E	13.6 6.3 7.0	底部より体部にかけて内傾し、口縁部は肥厚し、やや外反する。断面三角形の高台を有する。	ロタロ整形。底部回転糸切り接付高台。体部から底部にかけて及び高台部を横ナデ。	1/2 残存。 赤色スコリア状物質を含む。
17-2 図版 23	須日一坑	B-層 5E	15.6 6.7 7.1	底部より体部にかけてやや直線的に外上方へ外傾する。口縁部はやや外反する。断面三角形の高台を有する。	ロタロ整形。付高台。口縁部及び体部から底部・高台部を横ナデ。	1/3 残存。 赤色スコリア状物質を含む。

埴 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法			表 裏	側 面	備 考
		長 辺	短 辺	厚 さ			
17-8 図版 23	B-層 5E	9.9	9.3	6.3		布目痕が残る。	

第 32 次 調 査 出 土 遺 物

表 土 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法				成 ・ 整 形 の 特 徴						備 考
		狭 端	広 端	全 長	厚 さ	凹 面			凸 面		端 面	
素 材	布 目					特 徴	叩 き	特 徴	特 徴			
17-6 図版 23		11.1		12.3	3.0		30×34	狭端縁をヘラ削り、右側端縁を指ナデ。	罫目 L 15 本	無調整。	狭端・右側端を罫目叩き後ヘラ削り。	黒色スコリア状物質を含む。

第 33 次 調 査 出 土 遺 物

S X 3 (A地区) 土 器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
27-1 図版31	須A-環		18.6 3.8 5.96	底部から体部にかけてやや内凹し、口縁部は肥厚して外反する。全体的に器肉が薄い。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部から内面にかけて横ナデ。	1/2弱残存。
27-2 図版31	須A-環		12.2 4.6 4.55	厚手の底部より体部にかけてやや内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部から内面にかけて横ナデ。	1/2弱残存。内面スス付着。

表 土 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法				内 区		外 区				脇 区		文様 深さ	全長	備 考
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上		下		幅	文様			
								厚さ	文様	厚さ	文様					
27-3 図版31	A地区 瓦ダメ				3.2		G							0.6		二次焼成を受ける。
27-4 図版31	A地区 瓦ダメ				2.3		G							0.3	6.7	赤色スコリア状物質を含む。
27-5 図版31	A地区 瓦ダメ				3.6		KK								11.6	顎F ₂ -c。顎部に棒状圧痕。

男 瓦 一 覧

図 面 図 版	出 土 位 置	寸 法				成 ・ 整 形 の 特 徴							備 考	
		狭端	広端	全長	厚さ	凹 面			凸 面		端 面			
						素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴			
27-6 図版31	A地区 表土	3.5		18.4	1.5	粘土紐			全面を縦方向に指ナデ。狭端縁幅狭くへら削り。		全面縦方向に指ナデ。		狭端はへら削り。左側端は糸切り後無調整。	凸面分巻線有り。面縁骨針・黒色スコリア状物質含む。
27-7 図版31	A地区 瓦ダメ	15.0	14.5	1.5	粘土紐	16×20	広端・左側端縁を幅広くへら削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端・右側端縁をへら削り。		広端・右側端をへら削り。		黒色スコリア状物質を含む。	
27-8 図版31	A地区 瓦ダメ	10.2	26.1	1.4	粘土紐	26×24	広端・右側端縁を幅広くへら削り。		縦目L		全面板状工具で回転ナデ。広端・右側端縁をへら削り。		広端へら削り。左側端糸切り後へら削り。	布合せ目S。黒色スコリア状物質を含む。
27-9 図版31	A地区 瓦ダメ	17.8	16.7		粘土紐	28×29	広端・左側端縁を幅広くへら削り。		縦目L		全面板状工具で回転ナデ。広端・右側端縁をへら削り。		広端・右側端をへら削り。	広端隅切り。凸面分割線。黒色スコリア状物質含む。
27-10 図版31	A地区 瓦ダメ	14.7	11.6	1.9	粘土紐	33×35	左側端縁・広端縁を幅広くへら削り。		縦目L		全面板状工具で回転ナデ。		広端を縦目叩き。右側端はへら削り。	凹面縦直有り。凸面ナデ後の布目痕有り。面縁骨針含む。

図面 図版	出土 位置	寸法				成・装・形・の・特・徴						備考	
		狭端	広端	全長	厚さ	凹面			凸面				
						素材	布目	特 徴	叩き	特 徴	特 徴		
28-1 図版32	A地区 表土	10.8		21.8	1.1	粘土紐	30×27	狭端縁をへら削り。			全面板状工具で回転ナデ。右側端縁を幅広くへら削り。	左右側端指ナデ。	
28-2 図版32	A地区 表土	12.2	5.7	32.9	2.2	粘土紐	29×28	狭端縁を除く3端縁を幅広くへら削り。	縦目L	全面縦方向に指ナデ。狭端縁を除く3端縁をへら削り。	狭端指ナデ。広端・左右側端へら削り。	布合せ目Z。広端隅切り。	
28-3 図版32	A地区 表土	11.8		20.3	1.7	粘土紐	21×24	粘土紐接合部分指ナデ。左右側端縁幅広くへら削り。		全面縦方向に指ナデ。左右側端縁幅広くへら削り。	広端を除く3端をへら削り。	凹面に「寺」の朱墨書。	
28-4 図版32 図版41	A地区 瓦ダメ		14.9	17.7	1.7	粘土紐	23×23	右側端縁幅広くへら削り。	縦目L	全面板状工具で回転ナデ。左側端縁幅広くへら削り。	広端・左側端をへら削り。	布合せ目Sb。凹面に「戊」または「成」のへら書き文字有り。	
29-1 図版33	A地区 表土		18.5	24.1	1.9	粘土板		広端・右側端縁幅広くへら削り。左側端縁幅広くへら削り。		全面縦方向に指ナデ。	広端へら削り。左右側端へら削り後ナデ。	布合せ目。赤色スコリア状物質含む。	
29-3 図版33	A地区 瓦ダメ		18.5	25.6	1.7	粘土紐	26×27	広端縁を幅広く、左右側端縁は幅広くへら削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端縁幅広くへら削り。	狭端を除く3端をへら削り。	凹面に「寺」の朱墨書。広端隅切り。	
33-8 図版41	A地区 瓦ダメ				1.5							凹面にへら書き文字「瓦」。	
33-9 図版40	A地区 瓦ダメ		3.6	10.8	1.3		20×22	広端縁を幅広くへら削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端縁へら削り後ナデ。		凸面「父」押印。黒色スコリア状物質含む。	

女 瓦 一 覧

29-2	A地区 瓦ダメ			17.5	1.7		27×23			正格子		左側端へら削り。	赤色スコリア状物質含む。
30-1 図版34	A地区 瓦ダメ			24.1	2.1		30×27	左側端縁幅広くへら削り。	縦目L 10本	広端縁を幅広くへら削り。	左右側端指ナデ後へら削り。広端へら削り。	凹面に判読不明の文字。朱墨書「寺」。黒色スコリア状物質含む。	
30-2 図版34	A地区 瓦ダメ		28.6	22.0	2.1	粘土紐		左右側端縁をへら削り。	縦目L 11本	無調整。	広端・左側端をへら削り。	凹面に判読不明の朱墨書。黒色スコリア状物質含む。	
31-1 図版34	A地区 瓦ダメ	17.0		27.4	1.7		25×25	部分的に指ナデ。狭端縁へら削り。右側端縁指ナデ。	縦目L 15本	無調整。叩き締め用の凹径B。	狭端指ナデ後へら削り。右側端指ナデ。	凹面に判読不明の朱墨書。黒色スコリア状物質含む。	
31-2 図版34	A地区 瓦ダメ		27.0	22.0	1.8	粘土紐	34×42	左右側端縁を幅広く、広端縁を幅広くへら削り。	縦目L 11本	広端縁を幅広くへら削り。	広端縦目叩き後へら削り。左右側端指ナデ。	凹面「寺」の朱墨書。	
32-1 図版35	A地区 瓦ダメ	20.1		19.0	1.96	粘土板		部分的にへら削り。広端を除く3端縁幅広くへら削り。	縦目L	無調整。	広端を除く3端をへら削り。	粘土板合せ目Z。	

図版	出土位置	寸法				成・整・形の特徴						備考
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徴	叩き	特徴	端面特徴	
32-2 図版35	A地区 瓦ダメ		18.8	26.7	2.7	粘土紐	23×20	部分的に指ナデ。 左側端縁・広端縁を幅広くヘラ削り。	縄目L 10本	無調整。 叩き締めめの円弧B。	広端・左側端へラ削り。	凹面に判読不明の朱墨書。全体に自然釉付着。
32-3 図版35	A地区 瓦ダメ		20.3	23.2	1.7		27×20	広端・左側端縁を幅広くヘラ削り。	縄目L 8本	無調整。	左側端指ナデ。 コリア状物質含む。	凸面棒状圧痕。凹面判読不明模骨文字。黒色スコリア状物質含む。
32-4 図版35	A地区 瓦ダメ	11.2		26.8	2.6		22×28	狭端・右側端縁を幅広くヘラ削り。	縄目L 12本	無調整。	狭端・右側端指ナデ後へラ削り。 (一部凸面に及ぶ)	凹面に指書き。凸面に棒状圧痕。多量の黒色スコリア状物質含む。
33-1 図版36	A地区 表土	18.4		12.2	2.2	粘土板?		全面横方向にナデ。右側端縁へラ削り。	縄目L 10本	無調整。	狭端・右側端へラ削り。	凸面に整形台圧痕。海綿骨針含む。
33-2 図版33	A地区 瓦ダメ		6.5	15.8	2.1	粘土紐		全面横方向にナデ。左側端縁幅広く、広端縁幅広くヘラ削り。	斜格子	無調整。	広端・左側端へラ削り。	海綿骨針含む。
33-3 図版33	A地区 瓦ダメ		17.2	24.3	2.1	粘土板	24×21	左側端縁幅広く、広端縁を広くヘラ削り。	正格子	無調整。		広端にワラ状圧痕。海綿骨針含む。
33-4 図版33	A地区 瓦ダメ		16.5	13.4	1.8		34×36	部分的に指ナデ。広端縁幅広く、右側端縁幅広くヘラ削り。	縄目L 13本	左側端縁を指ナデ。	広端・右側端縄目叩き(L.8本)。部分的へラ削り。	一部自然釉付着。黒色スコリア状物質含む。
33-5 図版36	A地区 瓦ダメ			10.7	1.8			全面を横方向にヘラナデ。	布目	縦方向にヘラ削り。	左側端へラ削り。	凹面型一枚作り。
33-6 図版33	A地区 瓦ダメ			11.4	2.7	粘土板		狭端縁を幅広くヘラ削り。	縄目L 6本	無調整。	狭端へラ削り。	狭端面に「中」の押印。海綿骨針含む。
33-7 図版41	A地区 瓦ダメ			10.8	1.4		32×33	部分的に縦方向に指ナデ。		全面を横方向にナデ。		凹面棒状圧痕。へら書き文字「キ」。黒色スコリア状物質含む。
34-1 図版40	A地区 瓦ダメ		12.8	17.1	2.6		31×29	狭端縁を幅広くヘラ削り。	縄目L 10本	無調整。 叩き締めめの円弧B。	広端・左側端指ナデ。(一部凸面に及ぶ)	凹面に模骨文字「七」。判読不明の朱墨書。
34-2 図版36	A地区 瓦ダメ	11.7		19.5	2.2	粘土板		部分的に指ナデ。左側端縁幅広く、広端縁幅広くヘラ削り。	斜格子	無調整。	左側端極く僅かにヘラ削り。	凹面に「在」の押印。黒色スコリア状物質含む。
34-3 図版40	A地区 瓦ダメ						23×21		縄目L 11本			凹面に模骨文字「大」。黒色スコリア状物質含む。
34-4 図版40	A地区 表土	16.7		17.6	2.0	粘土紐	20×23	無調整。	縄目L 12本	無調整。	狭端・左側端指ナデ。(一部凸面に及ぶ)	凹面模骨文字「七」。黒色スコリア状物質含む。
34-5 図版40	B地区 瓦ダメ				2.1		33×27		縄目L 9本			凹面模骨文字「千」。凸面棒状圧痕。

図面 図版	出土 位置	寸法				成・整・形・の・特・徴						備考	
						凹面			凸面				端面
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徴	叩き	特徴	狭端		端面
34-6 図版40	A地区 瓦タメ		13.6	12.4	2.0		23×31			縄目L 11本		狭端・左側端 ナデ。	凹面に判読不明 の模倣文字。 黒色スフィア状 物質を含む。

鉄製品一覧

図面 図版	種別	出土位置	寸法	備考
27-11 図版36	釘	B地区	長さ 6.8 厚み 0.3	一部欠失。
27-12 図版36	釘	B地区	長さ 5.1 厚み 0.6	
27-13 図版36	釘	B地区	長さ 3.9 厚み 0.5	頭部欠れる。

第 30 次 調 査 出 土 遺 物

SD 23 遺跡 土 器 一 覧

図 面 図 版	種 別 器 形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
35-1 図版 37	須A-環	A 層	12.3 3.3 4.3	薄い底部より直線的に開く。器内は全体的に薄い。	粘土粗巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下平及び口唇部は横ナデ。	1/2 残存。
35-2 図版 37	須A-環	A 層	12.6 3.6 4.8	上げ底の底部より口縁部にかけて僅かに内彎し、口唇部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部から内面にかけて横ナデ。	一部欠失。
35-3 図版 38	須A-環	C 層	10.2 3.4 4.0	底部から体部にかけて内彎し、口唇部は肥厚する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面を横ナデ。	1/2 弱残存。 海綿骨針含む。
35-4 図版 37	須B-環	A 層	13.0 3.8 5.3	薄い底部より直線的に外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	2/3 残存。
35-5	須B-環	A 層	13.4 3.8 4.8	薄い底部より口縁部にかけて僅かに内彎し、口縁部は直線的に開く。全体的に薄手。	ロクロ整形。底部回転糸切り。内面を横ナデ。	口縁部 2/3 を欠失。赤色スコリア状物質含む。
35-6 図版 37	須B-環	B 層	12.9 4.0 4.5	上げ底の底部より口縁部にかけて内彎し、口唇部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	1/2 残存。 赤色スコリア状物質含む。
35-7 図版 38	須B-環	C 層	12.5 4.3 4.6	底部より口縁部にかけて直線的に外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	2/3 残存。赤色スコリア状物質含む。
35-8 図版 38	須A-環	C 層	12.6 3.6 4.8	体部やや内彎し、口縁部はやや外反する。	粘土粗巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面から内面にかけて横ナデ。	一部欠失。少量のスコリア状物質含む。
35-9 図版 37	須A-環	B 層	11.7 3.8 5.9	底部から体部にかけて内彎し、口縁部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	口縁部 1/3 欠失。スス付着。赤色スコリア状物質含む。
35-10	須A-環	A 層	13.6 4.9 5.0	体部下平は僅かに内彎し、体部より口縁部にかけて直線的に外傾する。口唇部肥厚する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面横ナデ。	1/2 弱残存。
35-11	須B-環	A 層	14.3 5.3 5.0	体部は直線的に外傾し、口唇部は肥厚する。ロクロ痕顕著。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面から内面にかけて横ナデ。	1/3 残存。 赤色スコリア状物質含む。
35-12	須B-環	A 層	12.3 4.9 5.6	底部より口縁部にかけて内彎する。口唇部肥厚する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	1/4 残存。僅く少量の赤色スコリア状物質含む。
35-13 図版 38	須B-環	C 層	12.5 4.2 5.2	体部は内彎し、口縁部は外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	1/2 強残存。灯明皿。赤色スコリア状物質を含む。
35-14 図版 37	須B-環	A 層	12.0 4.25 5.0	底部より直立気味に立ち上り、体部は内彎し、口唇部は肥厚する。器壁剥落が著しい。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面より内面にかけて横ナデ。	1/2 残存。 赤色スコリア状物質含む。

図 版	種 別	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
35-15 図版38	須B-環	C層	10.7 3.8 6.0	上げ底の底部より口縁部にかけてやや内彎気味に外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	ほぼ完形。内面にスス付着。赤色スコリア状物質含む。
35-16 図版37	須B-環	A層	12.6 4.1 6.4	底部から口縁部にかけて直線的に外傾する。ロクロ痕顕著。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。	完形。赤色スコリア状物質含む。
35-17 図版37	須B-環	A層	11.2 5.1 5.6	片口。底部より口縁部にかけてやや内彎し、口唇部は肥厚する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁内外面横ナデ。	一部欠失。内外面にスス付着。
35-18	須B-環	C層	11.1 4.5 5.2	体部は直線的に外傾し、口唇部はやや肥厚する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	口縁部1/3欠失。赤色スコリア状物質含む。
35-19	須B-環	A層	11.8 4.2 6.3	厚い底部より口縁部にかけてやや内彎して外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面を横ナデ。	口縁部1/2欠失。赤色スコリア状物質含む。
35-20	土一環	A層	10.3 3.2 5.6	底部から口縁部にかけて直線的に外傾する。	底部回転糸切り。	1/4残存。カワラケ。赤色スコリア状物質含む。
36-1 図版38	須一皿	C層	11.5 3.0 5.9	厚い底部から体部にかけて僅かに内彎し、口縁部は外反する。断面台形の高台を有する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り後付高台。底部・口縁部から内面横ナデ。	完形。黒色スコリア状物質含む。
36-2 図版37	土一壺	B層	16.0 5.8 5.7	丸味を帯びた平底の底部より口縁部にかけて内彎する。器壁の剥落が著しい。	底部より体部下半を手持ちへら削り。体部上半から口縁部横ナデ。内面ヘラミガキ。	1/4欠失。内面黒色処理。
36-3	土一甕	A層	17.1 5.3 —	コ字状の口縁を有する。頸部はほぼ直立する。	口縁部横ナデ。胴上部内面ナデ。外面横方向のへら削り。	口頸部破片。
36-4 図版37	須B-環	B層	— 1.9 5.7	底部から直線的に立ち上る。底部中央に発成後の穿穴あり。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	底部破片。赤色スコリア状物質含む。
36-5	須一甕	A層			外面平行叩き。	体部破片。転用甕。

鏡 瓦 一 覧

図 版	出 土 位 置	直 径	内 区						外 区					全 長	備 考
			中 房 径	進 子 数	弁 区 径	弁 幅	弁 数	幅	内 縁		外 縁				
									幅	文 様	幅	高	文 様		
36-11 図版38	A層	17.8			3.3	2.6	T 8	1.9	0.5	A a	1.4	0.6	A a	3.2	海綿骨針・黒色スコリア状物質を含む。
36-12 図版38	A層				3.7	3.4	S 1	2.9	1.3	A a	1.6	0.5	A a		瓦当裏面は縄目叩き。黒色スコリア状物質含む。

女 瓦 一 覧

圖 面 圖 版	出 土 位 置	寸 法				成 形 の 特 徴							備 考
		狭端	広端	全長	厚さ	凹 面			凸 面		端 面		
						素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴		
36-10	A 層	7.4		12.7	1.5		21×18	狭端・右側端縁をへら削り。			全面を指ナゲ。左側端縁へら削り。	狭端・右側端を指ナゲ。	少量の海綿骨針・黒色スカーリア状物質含む。
36-13 図版38	A 層		29.2	26.6	2.7	粘土組	18×15	左右側端縁幅広く、広端縁広くへら削り。	横目L 11木	無調整。 叩き締めのみ瓦B。	狭端を除く3端を指ナゲ後へら削り。	広端面にワラ状圧痕。海綿骨針含む。	

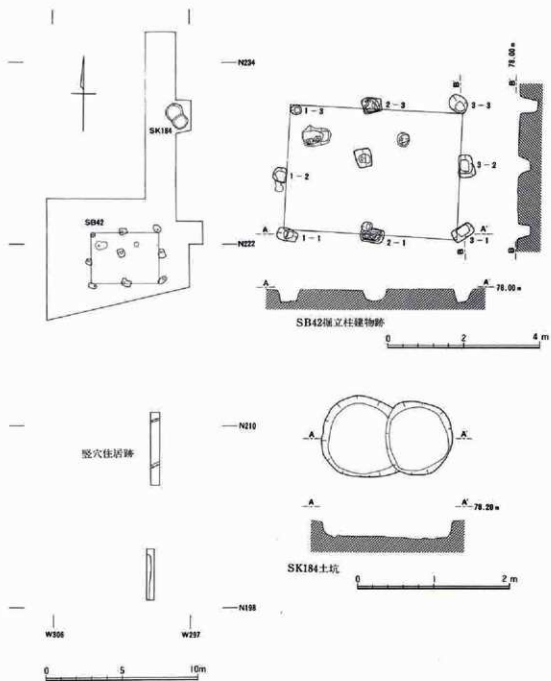
石 製 品 一 覧

圖 面 圖 版	種 別	出 土 位 置	寸 法	備 考
36-6	瓦 石	A 層	長さ 10.7 幅 7.6 厚み 6.0	

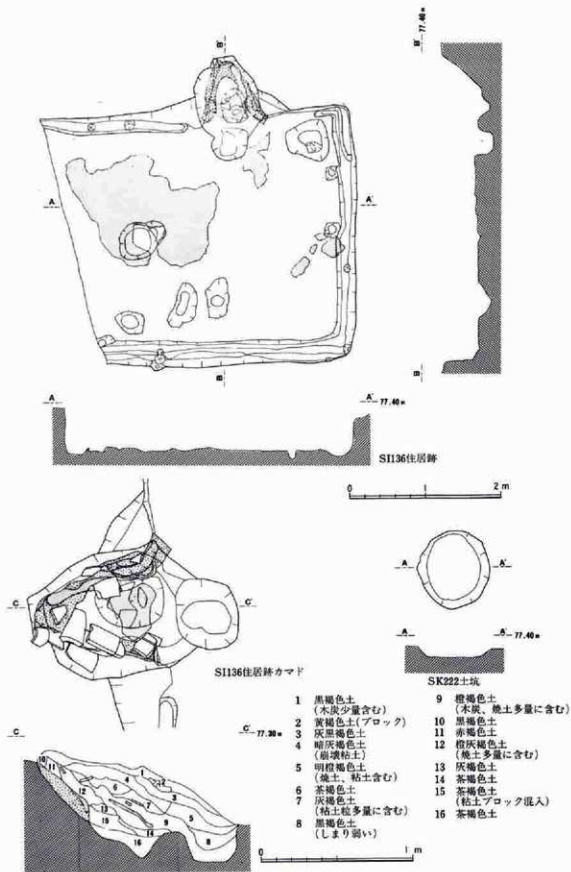
表土 鉄 製 品 一 覧

36-7	不 明		長さ 2.8 幅 1.9 厚み 0.2	
36-8	刀 子		長さ 2.1 幅 1.1 厚み 0.2	刀子の基。
36-9	釘		長さ 5.2 厚み 0.7	

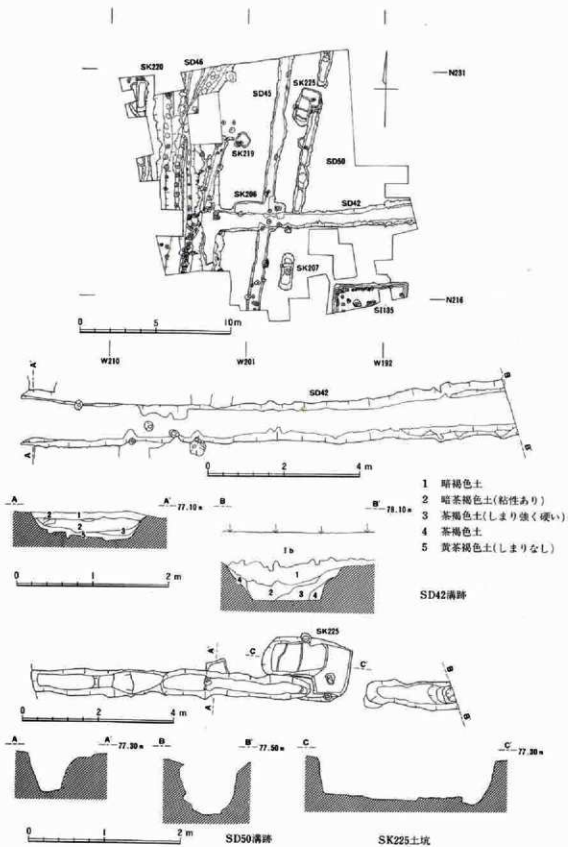
圖 面



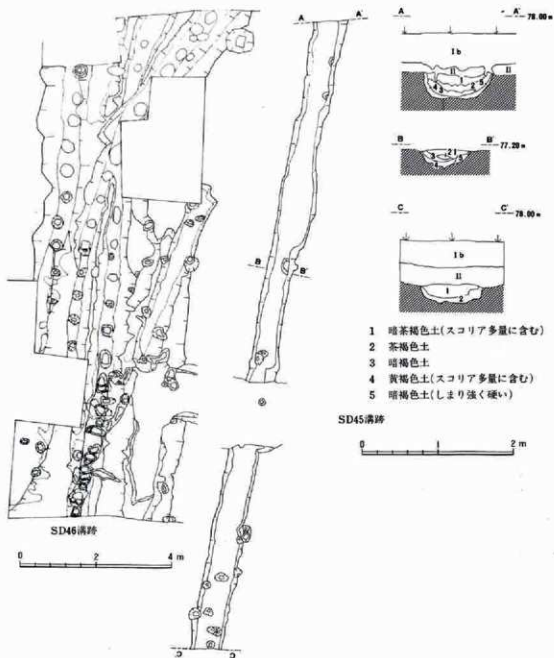
図面1 第41次調査 遺構配置図、SB42獨立柱建物跡、SK184土坑実測図



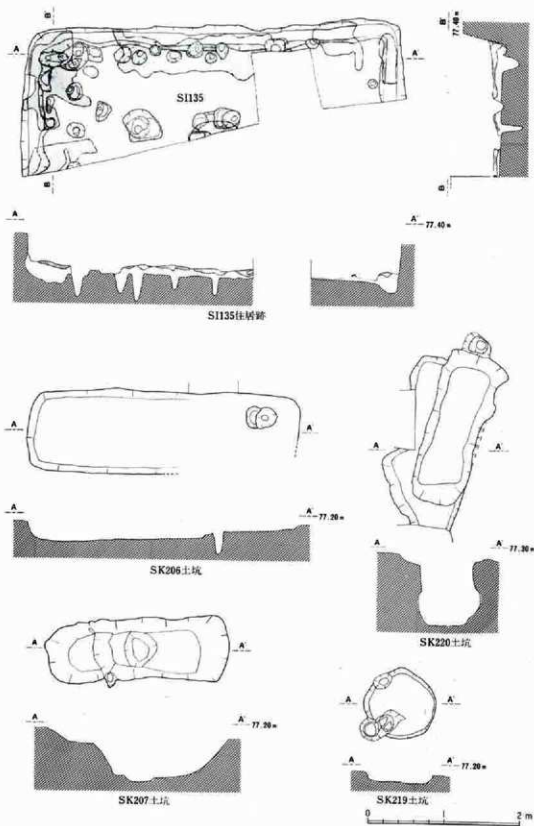
図面3 第42次調査 SI136住居跡、SK222土坑実測図



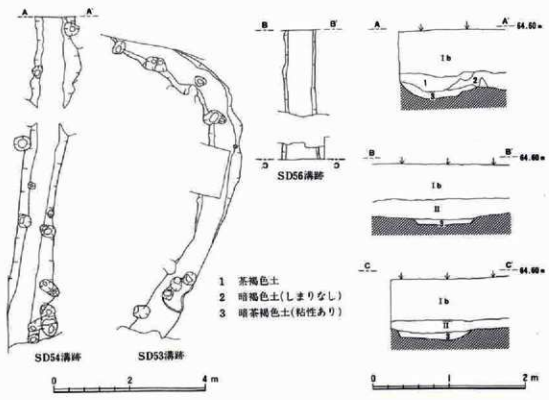
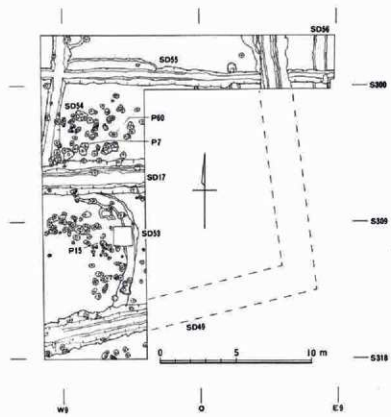
図面4 第48次調査 遺構配置図、SD42・50溝跡、SK225土坑実測図



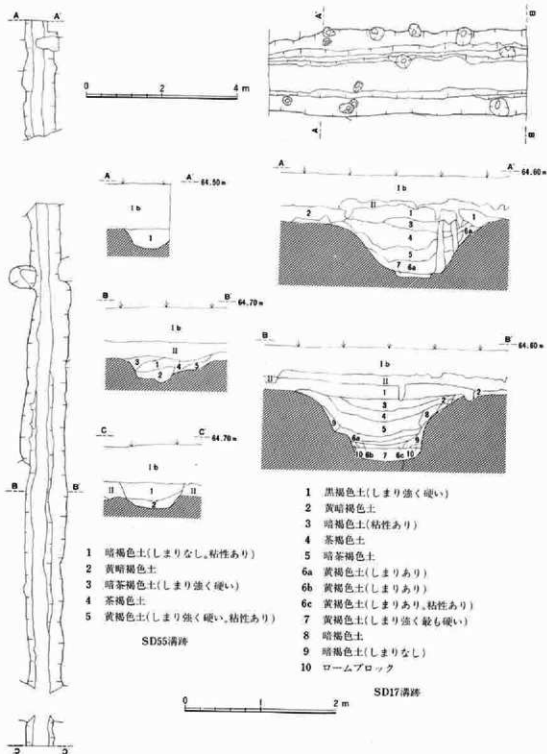
図面5 第48次調査 SD45・46溝跡実測図



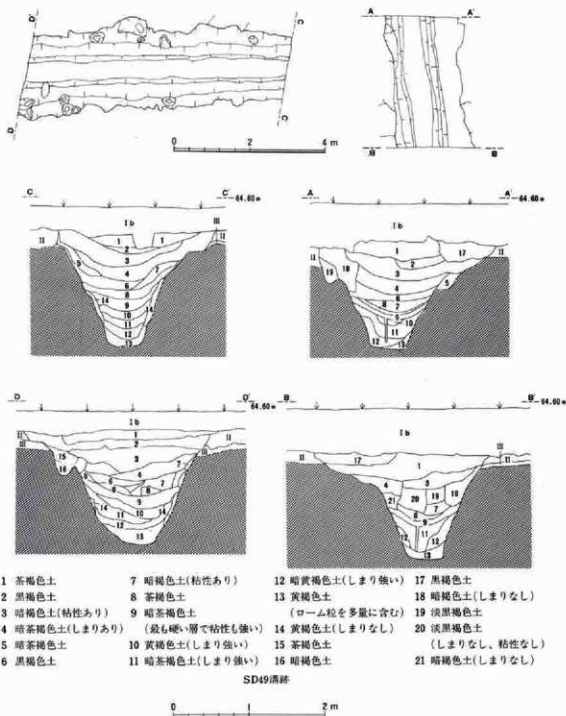
図面6 第48次調査 SI135住居跡、SK206・207・219・220土坑実測図



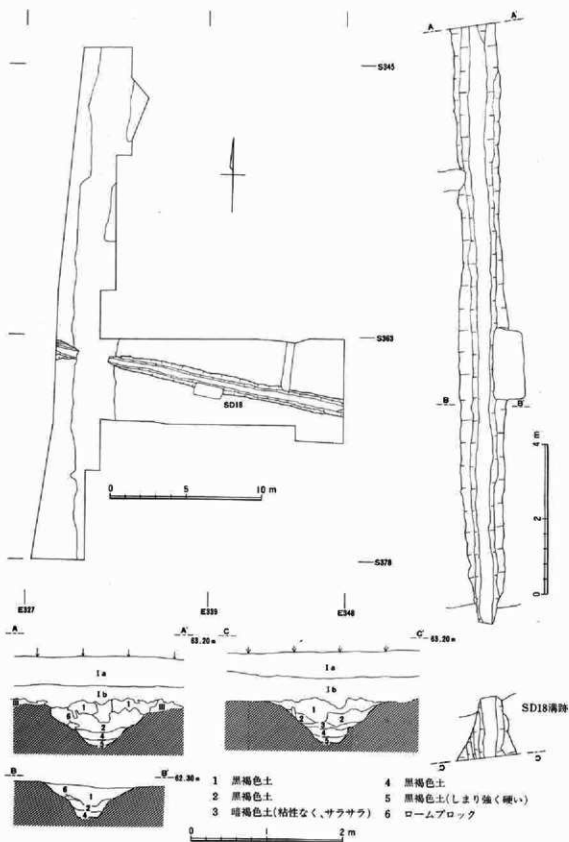
図面7 第44次調査 遺構配置図、SD53・54・56溝跡実測図



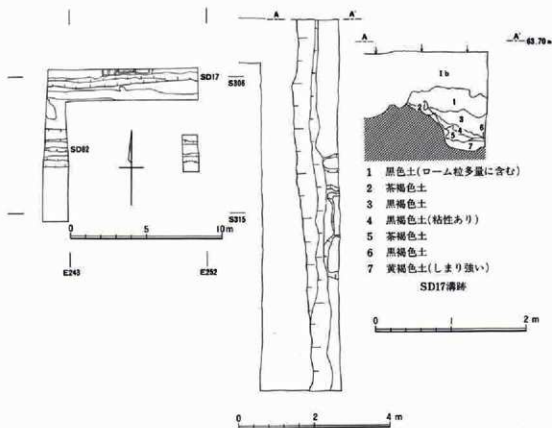
図面 8 第44次調査 SD17・55溝跡実測図



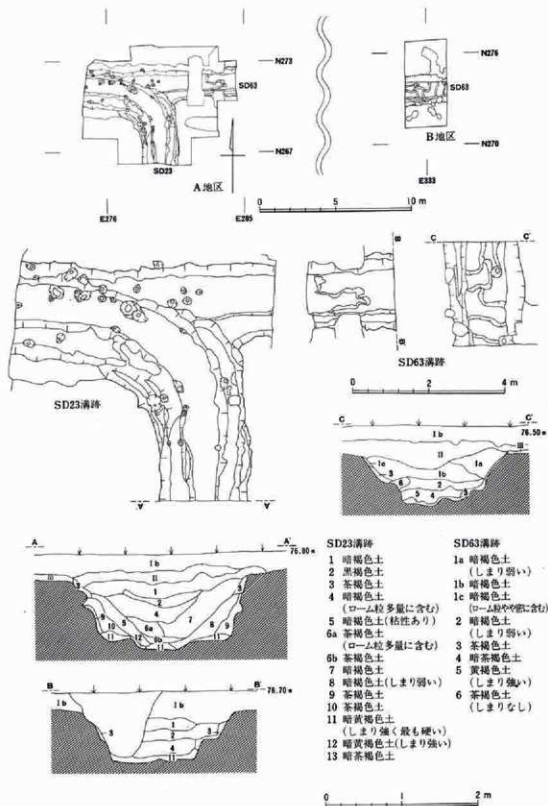
図面9 第44次調査 SD49清跡実測図



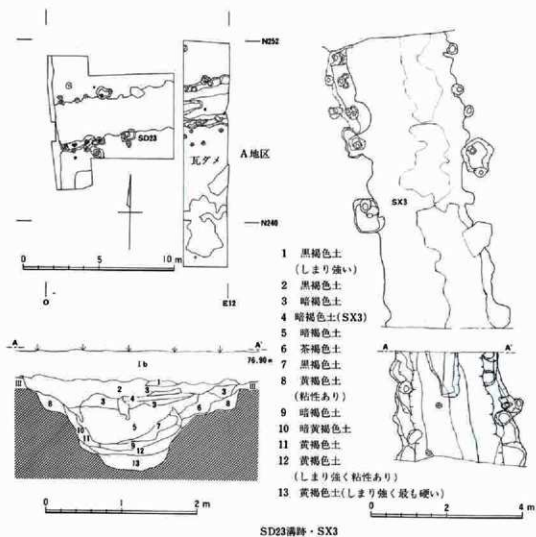
図面10 第50次調査 遺構配置図、SD18溝跡実測図



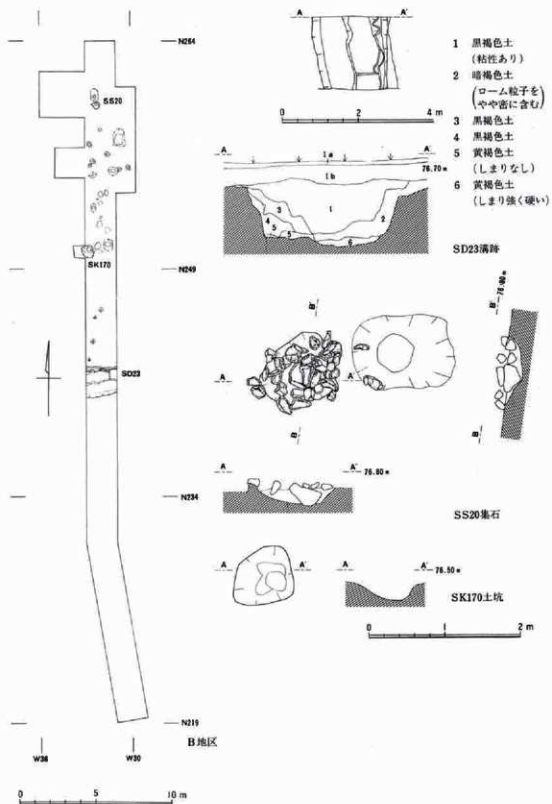
図面11 第78次調査 遺構配置図、SD17溝跡実測図



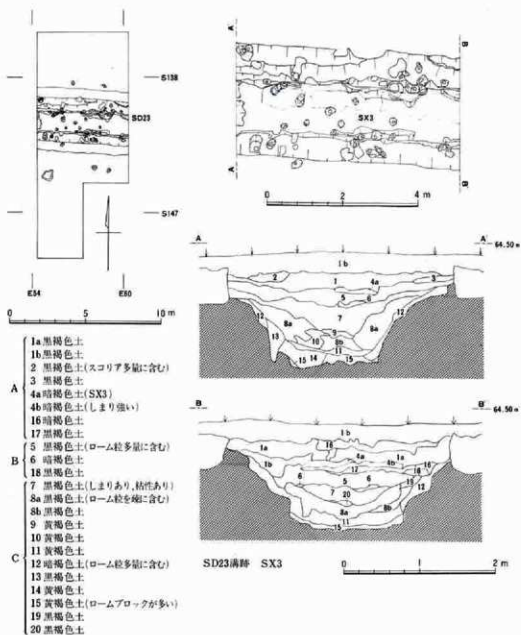
図面13 第43次調査 遺構配置図、SD23・63溝跡実測図



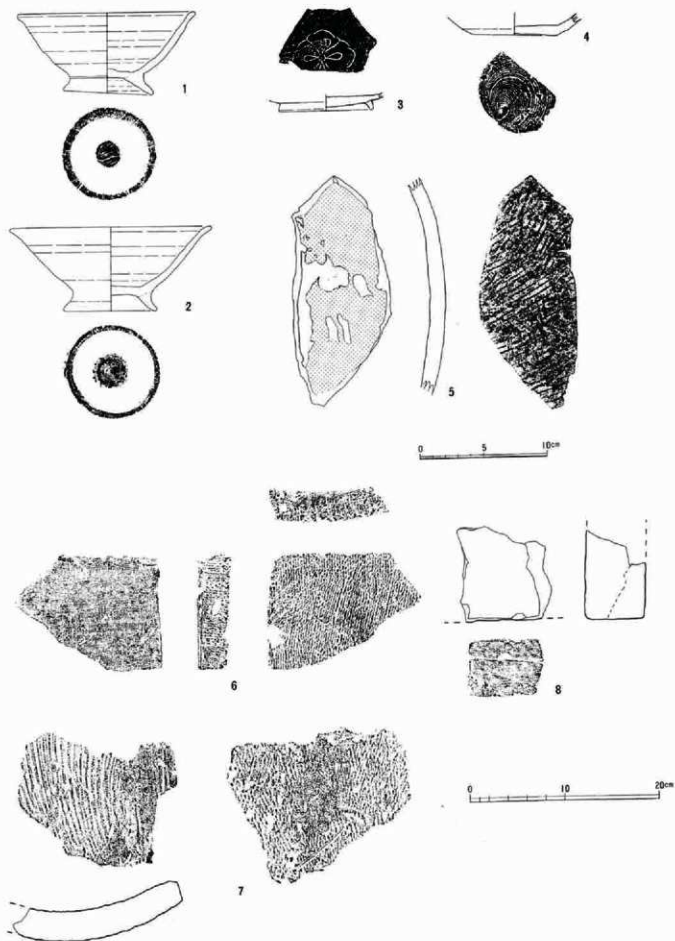
図面14 第33次調査 A地区遺構配置図、SD23溝跡、SX3実測図



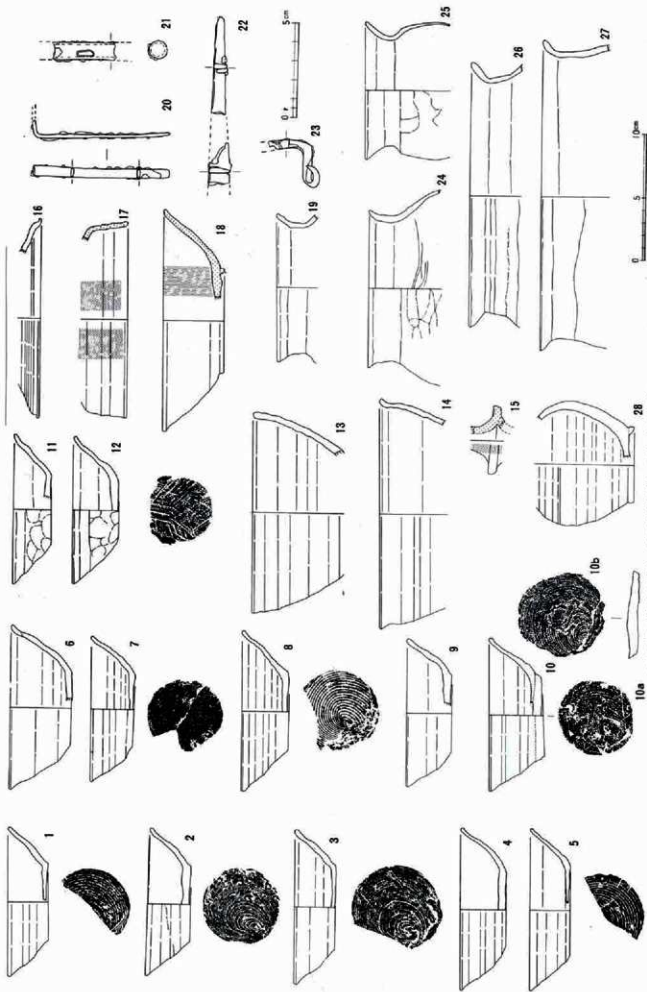
図面15 第33次調査 B地区遺構配置図、SD23清跡、SS20集石、SK170土坑実測図



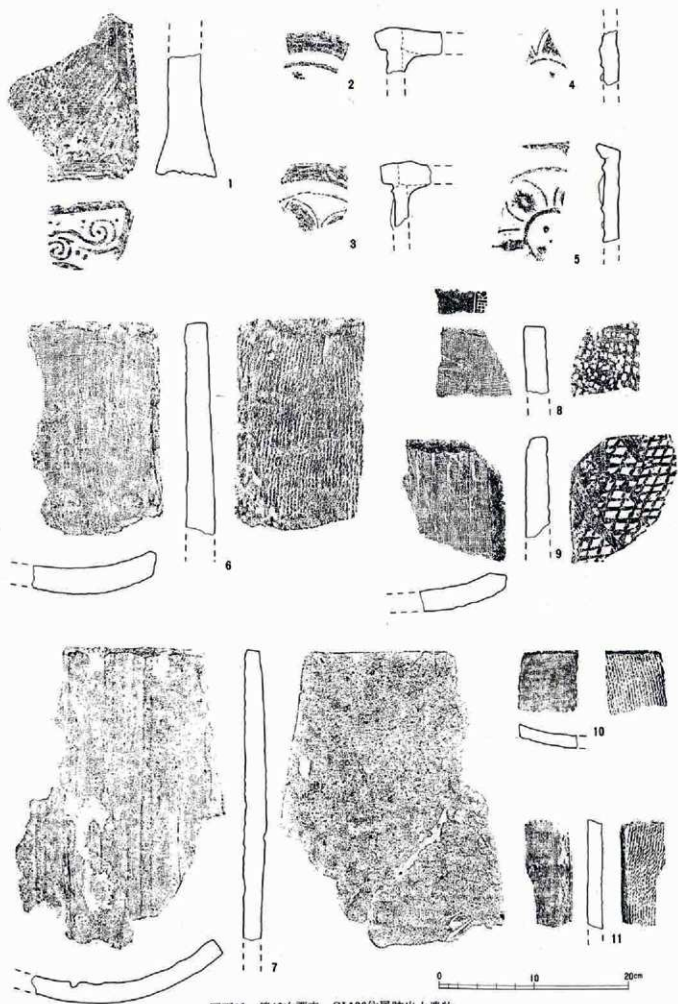
図面16 第30次調査 遺構配置図、SD23溝跡、SX3実測図



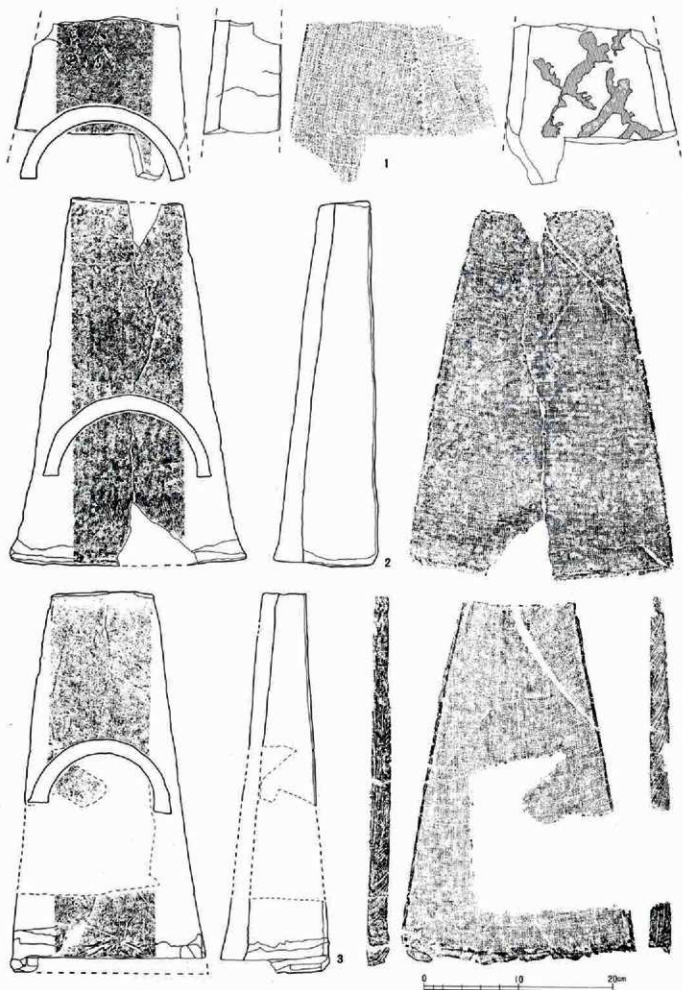
図面17 第31・32・41次調査出土遺物 1・2・8 第31次調査 (SD23溝跡)
 6 第32次調査 (表土)
 3・4・5・7 第41次調査 (竪穴住居跡・表土)



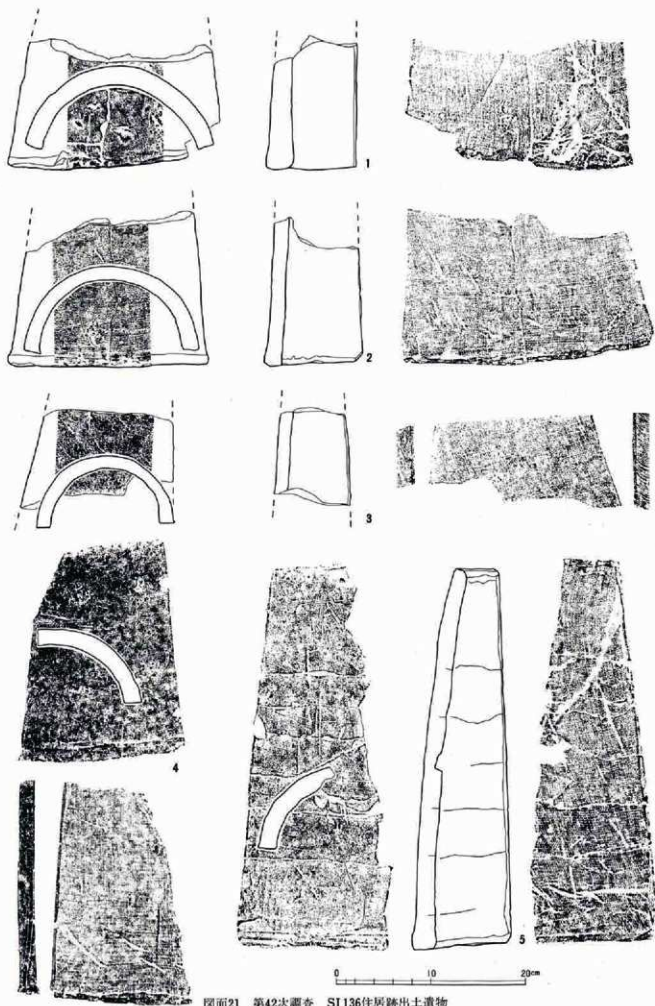
图版18 第42次調查 SI 136住居跡、表土出土遺物
1~27 SI 136住居跡、28 表土



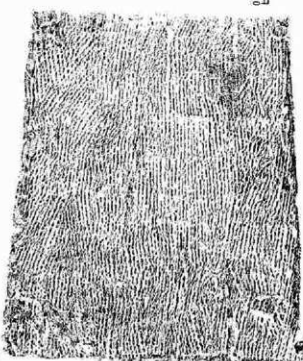
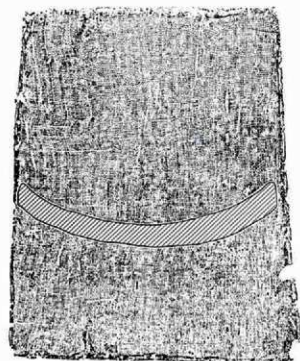
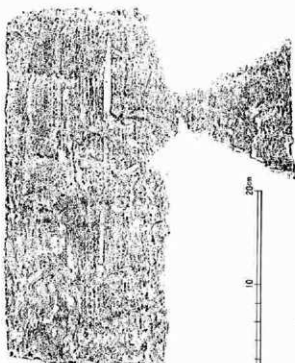
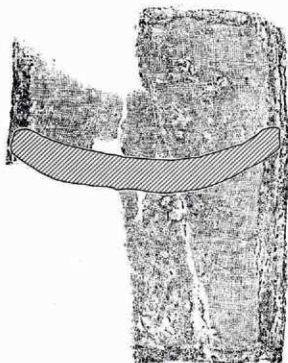
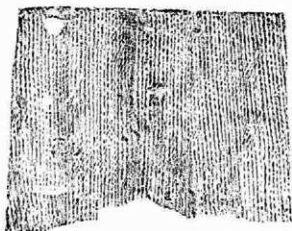
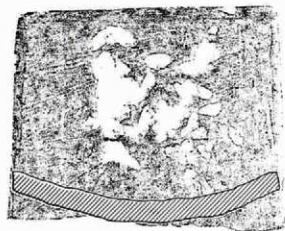
图版19 第42次調査 S1136住居跡出土遺物



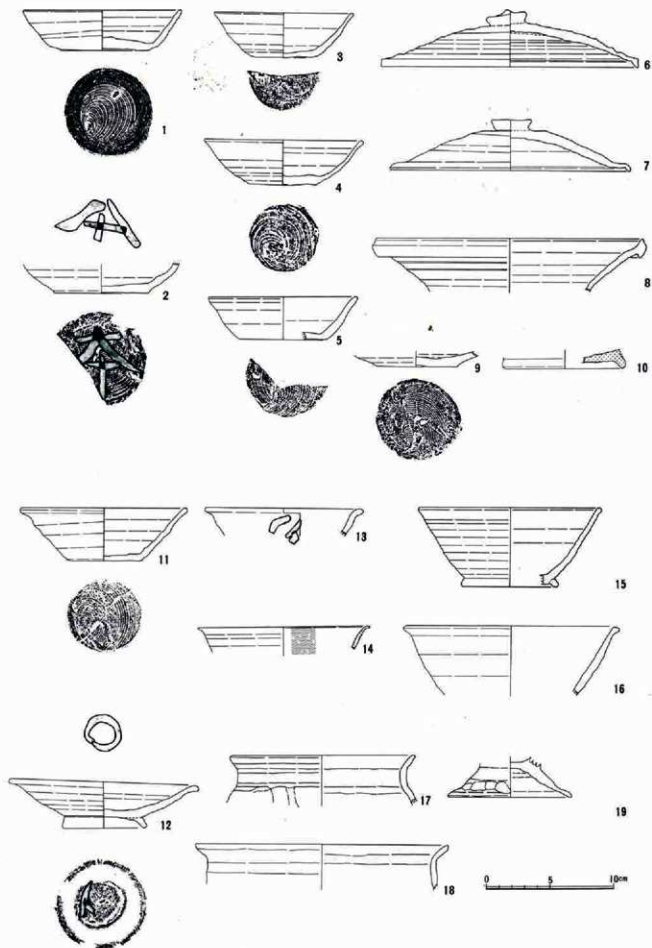
図面20 第42次調査 SI136住居跡出土遺物



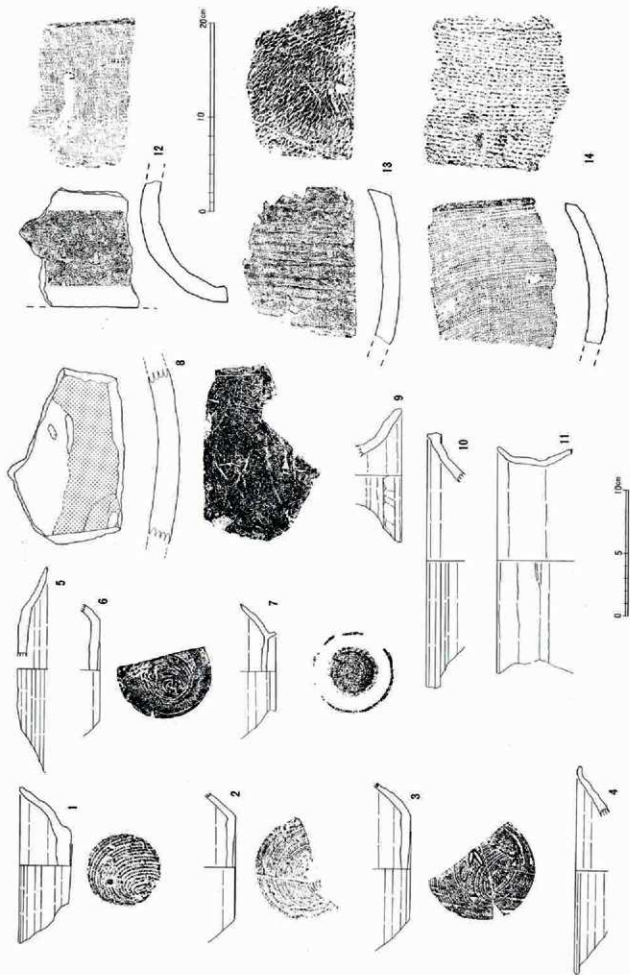
圖面21 第42次調査 SI 136住居跡出土遺物



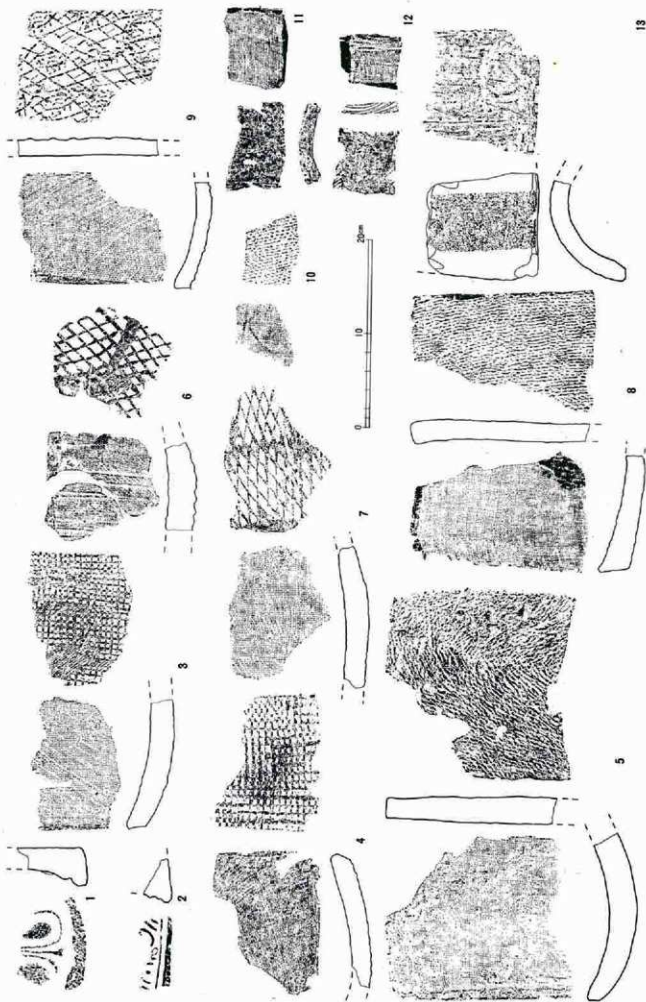
図面22 第42次調査 SI136住居跡出土遺物



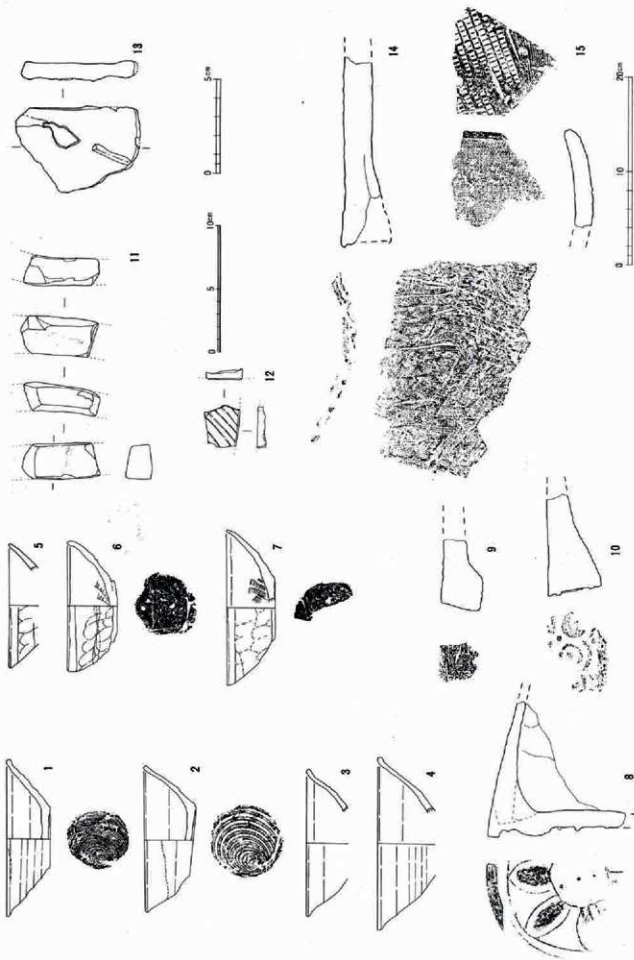
図面23 第48次調査 SD42・46清跡、SI135住居跡出土遺物
 1 SD42清跡、2~10 SD46清跡、11~19 SI135住居跡



圖面24 第48次調査 SD45・46清跡、表土出土遺物
 1～11 表土、12 SD45清跡、13・14 SD46清跡

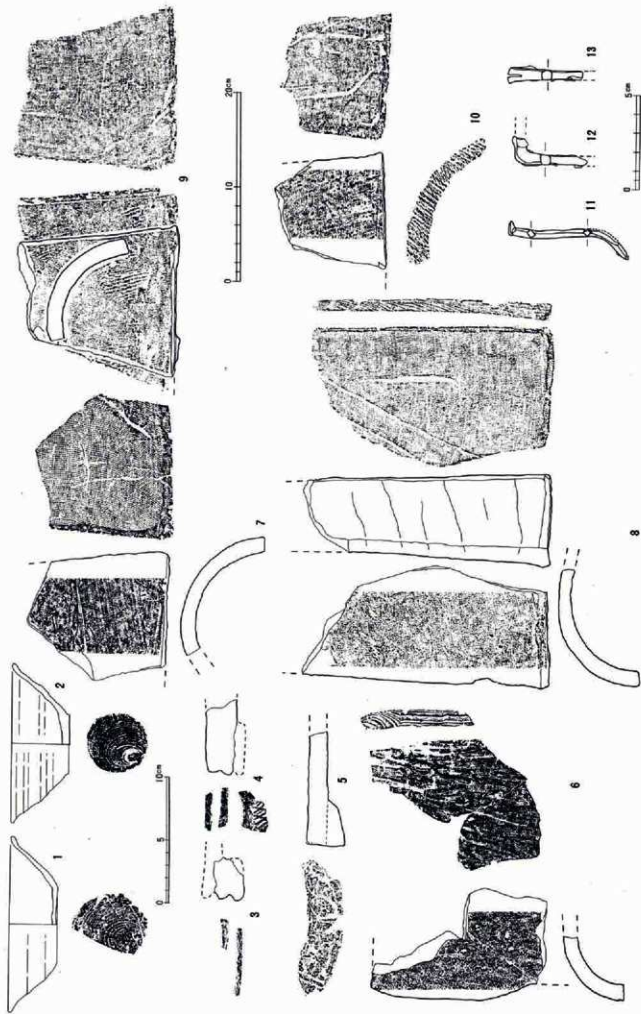


图版25 第48次調査 表土出土遺物

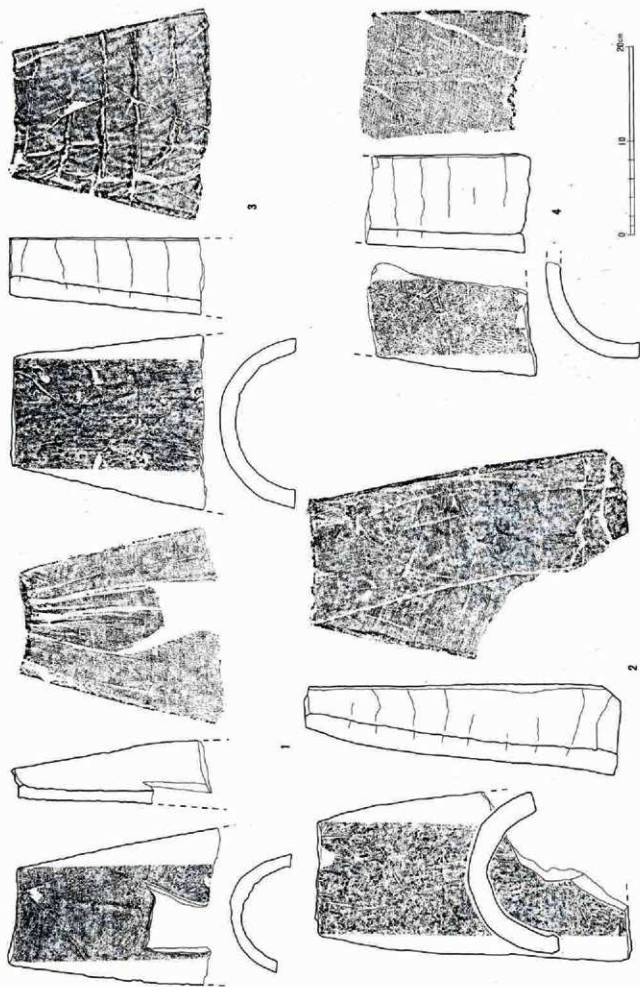


圖面26 第44次調査 SD17・46溝跡、P 7・15・60、表土出土遺物

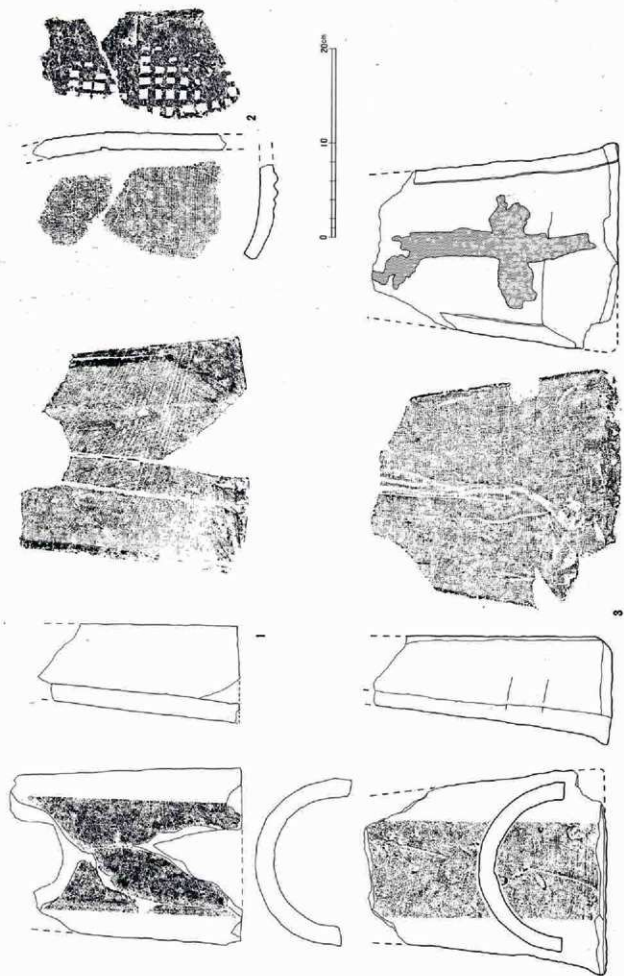
1 P 60、2~5・7・11~13・15 表土、6・9 SD46溝跡、8 P 7、10 P 15、14 SD17溝跡



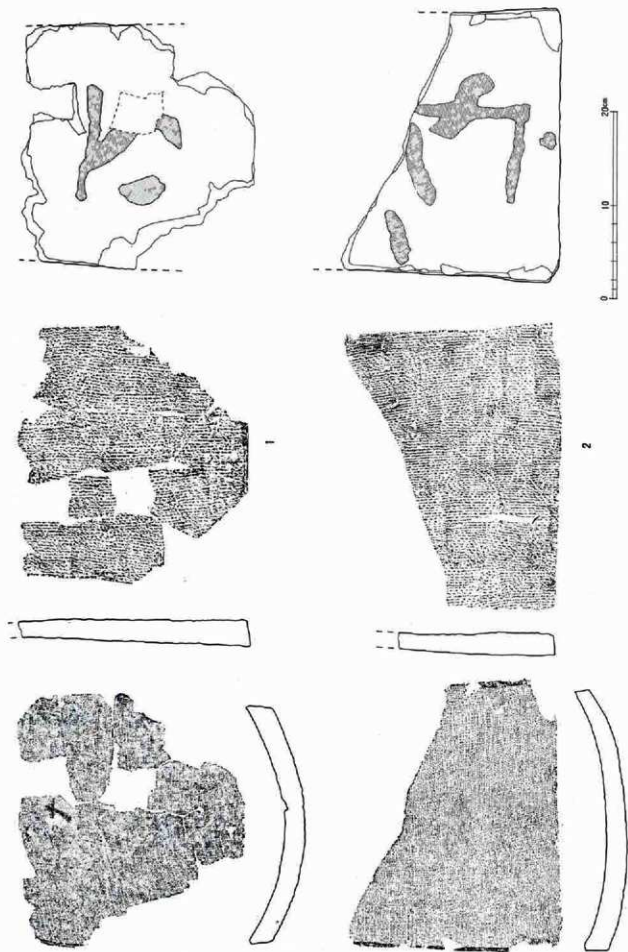
图面27 第33次调查 A·B地区SX3、姜土出土遗物
 1·2 SX3(A地区)、3~10 A地区姜土、11~13 B地区姜土



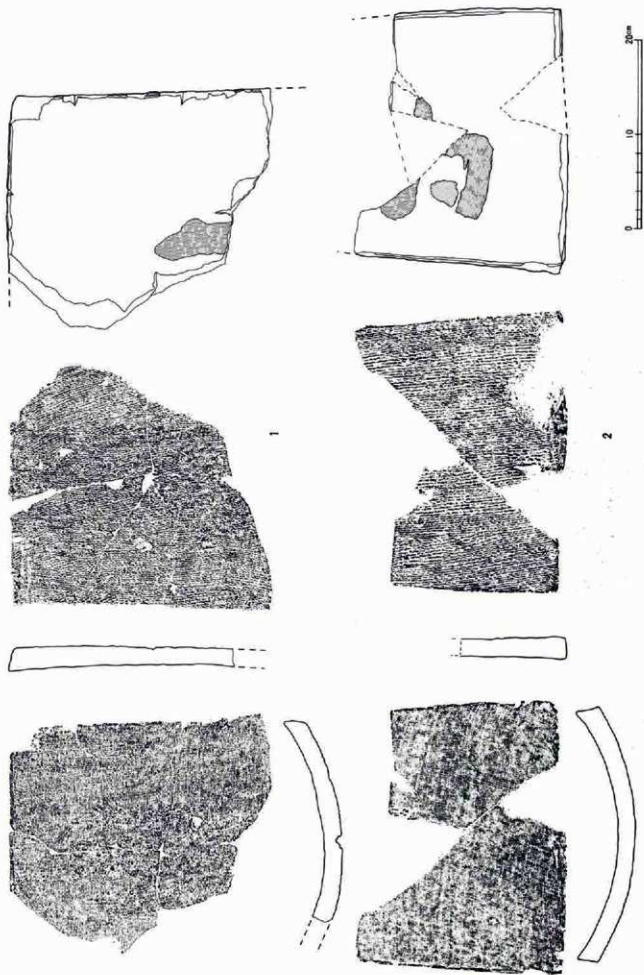
图四二八 第33次调查 A地区表土出土遗物



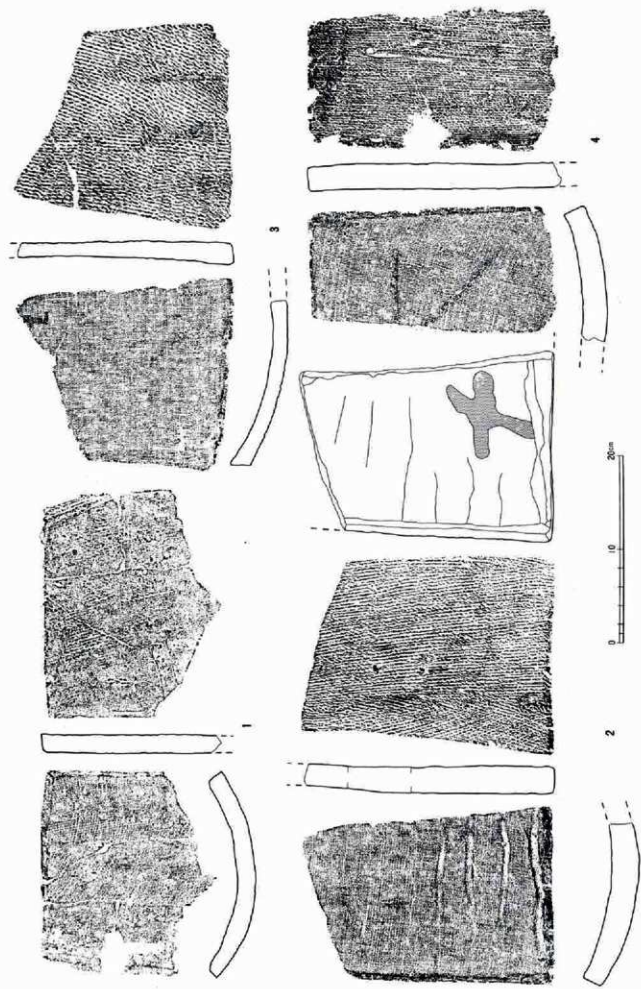
図面29 第33次調査 A地区表土出土遺物



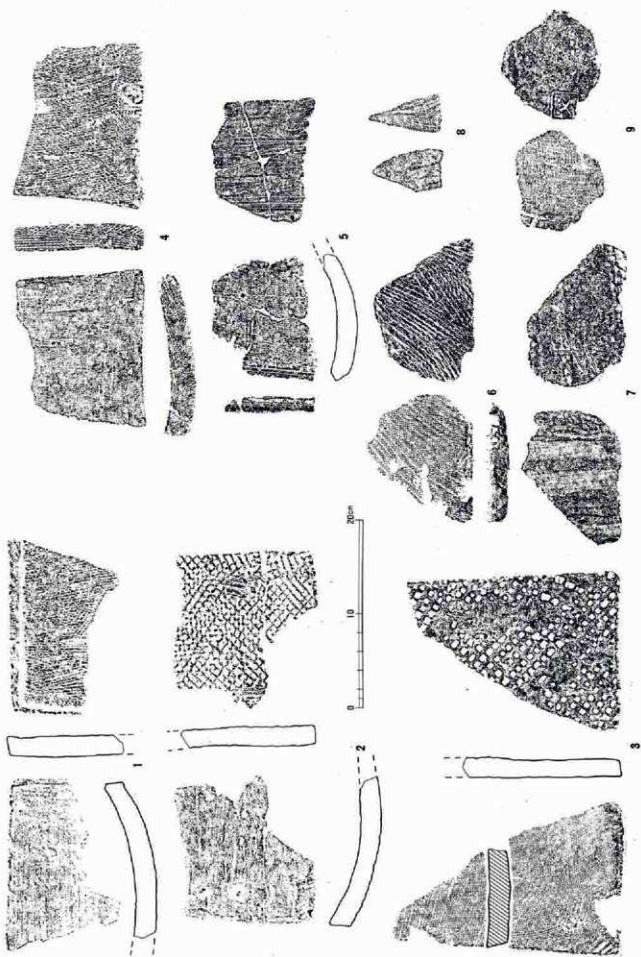
图版30 第33次调查 A地区表土出土遺物



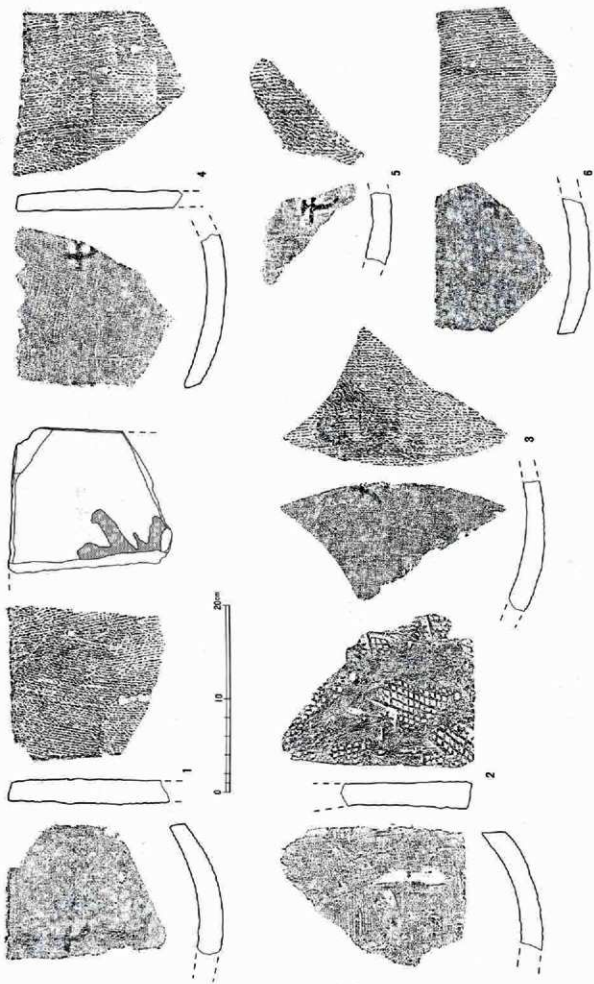
图版31 第33次调查 A地区表土出土器物



图版32 第33次调查 A地区出土文物

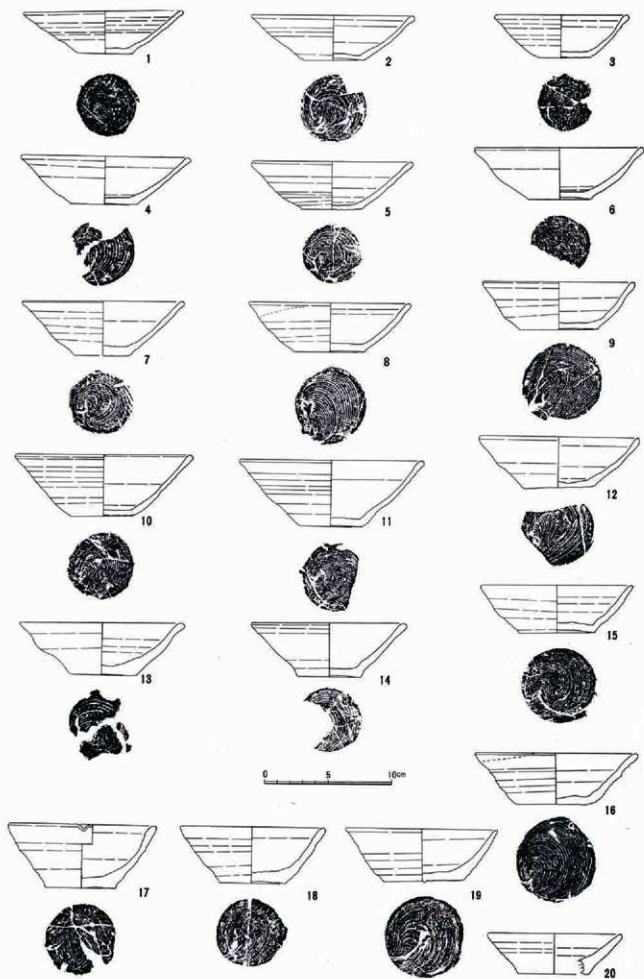


图面33 第33次調査 A地区表土出土遺物

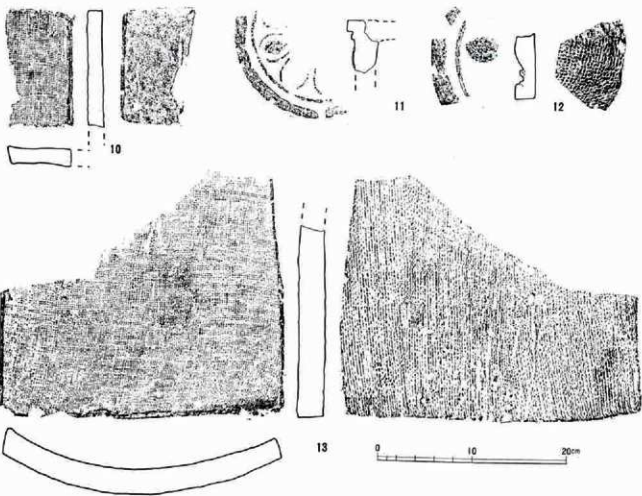
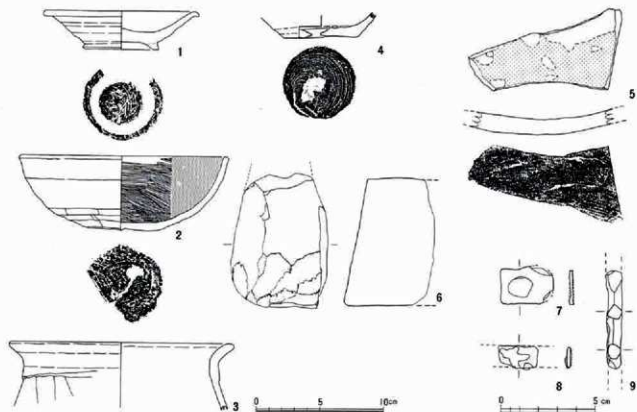


图版34 第33次调查 A·B地区表土出土遗物

1~4·6 A地区, 5 B地区



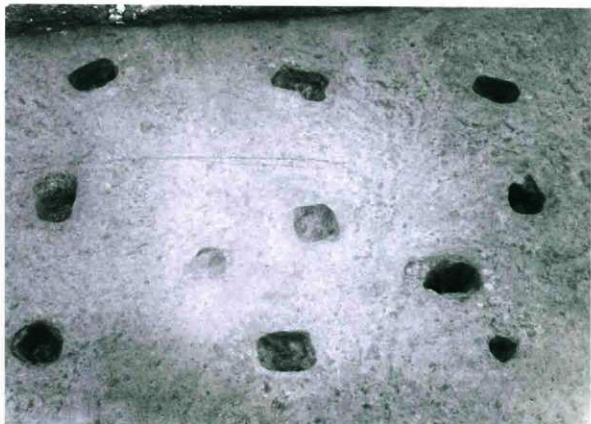
図面35 第30次調査 SD23溝跡出土遺物



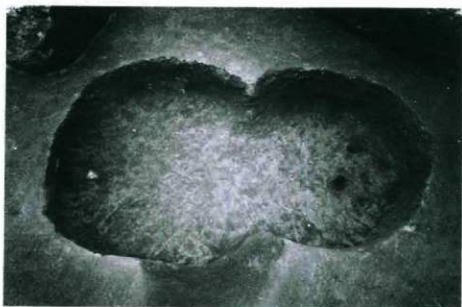
図面36 第30次調査 SD23溝跡、表土出土遺物

1-6・10-13 SD23溝跡、7-9 表土

圖 版



SB 42 掘立柱建物跡全景（北から）



SK 184 土坑全景（西から）



SD 42 溝跡全景（東から）



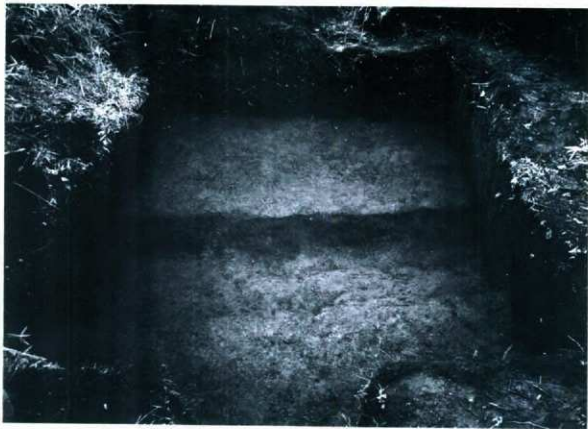
SD 42 溝跡土層断面B~B'（西から）



SI 136 住居跡全景（西から）



SI 136 カマド遺物出土状態（西から）



SD 42 溝跡全景（北から）



SD 42 溝跡土層断面D~D'（西から）



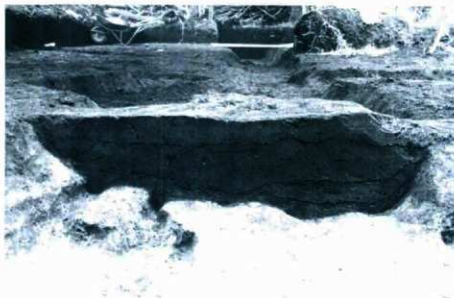
SI 135 住居跡全景（西から）



SD 42・45・46・50 溝跡 SK 206・207 土坑全景（北から）



SD 42 溝跡、SK 206 土坑全景（西から）



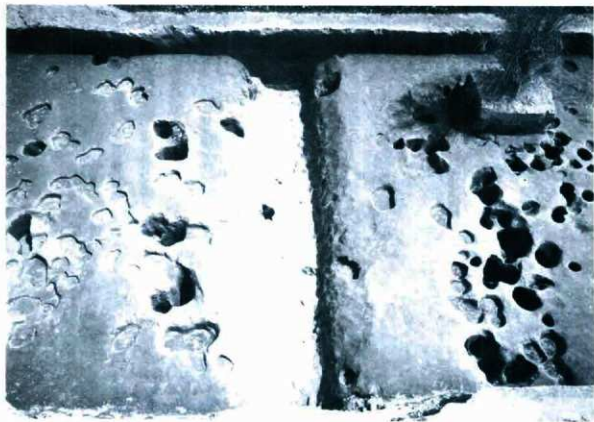
SD 42 溝跡土層断面A-A'（東から）



SD 45・46・50 溝跡、SK 219・225 土坑全景（南から）



SK 220 土坑全景（東から）



SD 17 溝跡全景（西から）



SD 17 溝跡土層断面B~B'（西から）



SD 49 溝跡全景 (西から)



SD 49 溝跡土層断面D-D (西から)



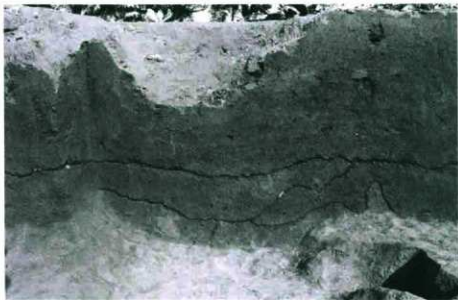
SD 49・55・56 溝跡全景（東から）



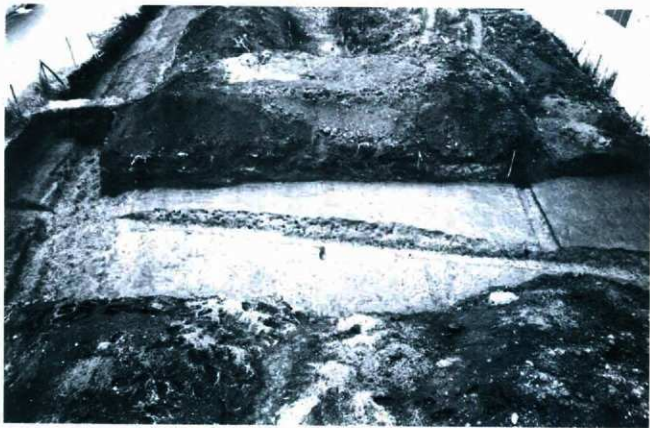
SD 49 溝跡土層断面B~B'（北から）



SD 54・55 溝跡全景（南から）



SD 54 溝跡土層断面A-A'（南から）



SD 18 溝跡全景（南から）



SD 18 溝跡全景（東から）



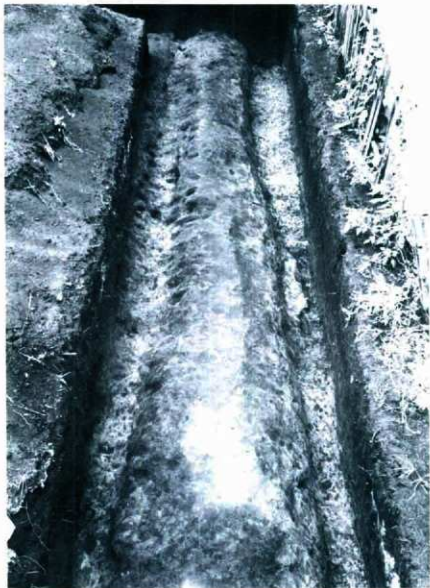
SD 18 溝跡土層断面A~A' (西から)



SD 18 溝跡土層断面B~B' (西から)



SD 18 溝跡土層断面C~C' (東から)



SD 17 溝跡全景（東から）



SD 17溝跡
土層断面A-A'（東から）



SD 23 溝跡全景（西から）



SD 23 溝跡土層断面A-A'（南から）



SD 23・63 溝跡全景（南から）



SD 23・63 溝跡全景（東から）



SD 63 溝跡全景（東から）



SD 63 溝跡土層断面C-C'（西から）



SD 23 溝跡全景（東から）



SD 23 溝跡土層断面A~A'（南から）



SD 23 溝跡全景（北から）



SD 23 溝跡土層断面A-A'（東から）



SD 23 溝跡全景（北から）



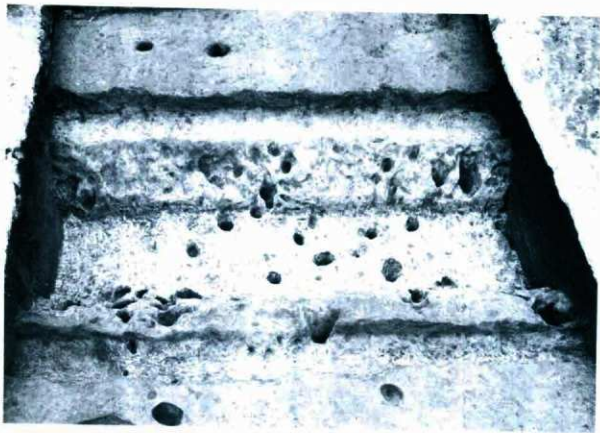
SD 23 溝跡土層断面A-A'（東から）



A地区 SX 3 全景 (北から)



B地区 SS 20 集石全景 (東から)



SD 23 溝跡全景（北から）



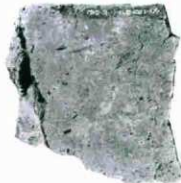
SD 23 溝跡土層断面B-B'（西から）



17-2



17-3



17-8



17-6



17-7



18-17

18-16



18-11



18-2



18-10



18-7



18-3



底部外面 a



18-28



底部外面 b



底部内面



18-24



19-3



19-5



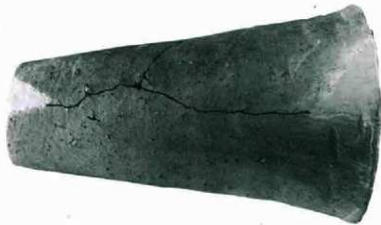
19-1



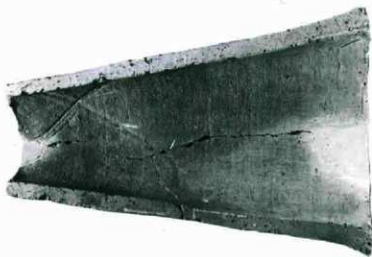
19-2



21-3



20-2



20-3

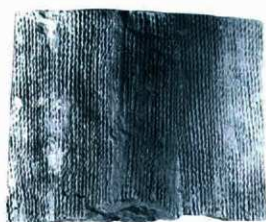
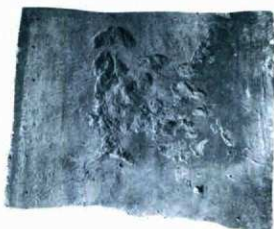




19-6



19-7



22-1



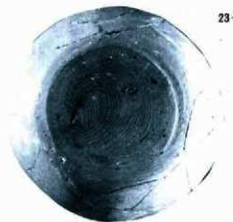
22-3



22-2



23-1



23-7



23-6



23-3



23-5



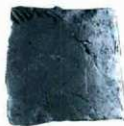
23-12



25-1



25-2



25-12



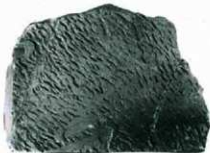
25-11



25-4



25-9



24-13



25-5



26-1



26-6



26-2



26-8



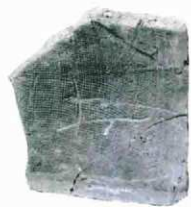
26-9



26-10



26-14



27-7



27-6



27-9



27-2



27-5



27-10



27-1



27-3



27-4

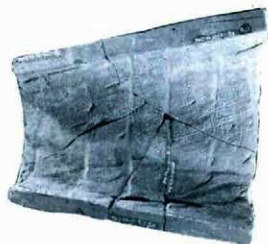
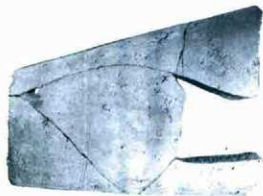
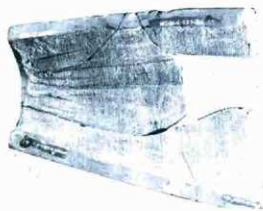




28-4



28-1



28-3



28-2

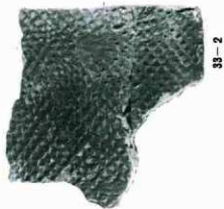




29-1



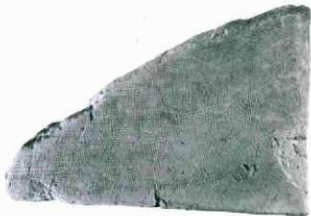
29-3



33-2

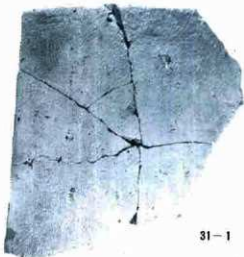


33-3

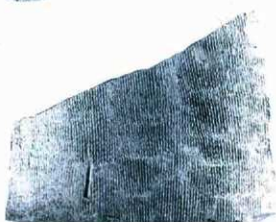




30-1



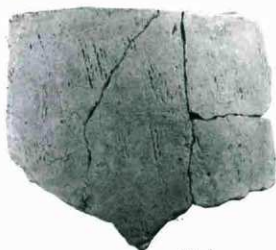
31-1



30-2



31-2



32-1



32-3



32-2



33-5



33-1



34-2



27-13



27-12



27-11



35-1



35-4



35-2



35-16



35-14



35-17



36-10



35-9



35-6



36-2





35-13



35-15



35-7



36-1



35-8



35-3



36-11



36-12



36-13



23-2 内面



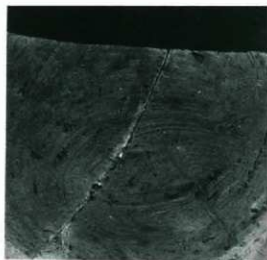
23-2 外面



23-12 内面



23-12 外面



24-3



34-5



34-6



34-3



34-1



33-9



19-8



33-7



28-4



33-8

武蔵国分寺遺跡調査会年報Ⅱ

昭和51～53年度 寺池・僧寺々城確認調査 第2分冊

昭和57年3月31日

編著 武蔵国分寺遺跡調査団

◎(団長 滝口 宏)

発行 武蔵国分寺遺跡調査会

東京都国分寺市教育委員会

印刷 僧陽堂印刷株式会社

令和4年(2022)8月25日 デジタル版作成